

第2部

タスク活動例

第2部では、タスク活動例として、研究協力委員7名による36の授業実践を紹介する。

各タスク活動例は、「活動の概要」及び「ワークシート類」で構成され、「活動の概要」は様式を統一し、下記の点に留意して作成した。

1 タイトル

各活動を表すタイトルを英語で示すとともに、必要に応じて日本語のサブタイトルを付した。

2 レベル

「易」「中」「難」の3段階でそれぞれの活動の難易度を表した。

なお、「易」「中」「難」の区別は、実際に授業を行った学級の学年を参考にして、下記の基準を目安に当研究会で決定した。

- ・「易」：高等学校1年生の活動に相当するレベル
- ・「中」：高等学校2年生の活動に相当するレベル
- ・「難」：高等学校3年生の活動に相当するレベル

3 所要時間

各活動の所要時間を「分」単位で表した。

4 ねらい

各活動における「ねらい」を日本語で簡潔にまとめた。

5 タスク・イメージ

各活動の形態と概要を示した。

- ・各活動の形態として「ペア・ワーク」又は「グループ・ワーク」と示した。
- ・各活動の概要を日本語で簡潔にまとめた。

6 手順

「指導の手順例」に従って、各活動の手順と時間配分、留意点等について簡潔にまとめた。

7 評価

評価の観点として、「タスクの完了」、「コミュニケーションの継続」、「表現の能力」の3観点を設定し、それぞれ「評価規準」を示した。

8 留意点

留意点に、「使用が予想される文法項目」を示した。

なお、次ページに「タスク活動例」の目次を兼ねて、36の活動例の「タイトル」「活動の概要」「活動形態」「使用が予想される文法項目」「レベル」「所用時間」を「タスク活動例一覧」としてまとめた。

タスク活動例一覧

番号	ページ	タイトル	活動の概要	活動形態			使用が予想される 文法項目	レベル			所要 時間 (分)	
				ペア・ ワーク	グループ・ ワーク	その他		易	中	難		
1	1	Golden Week －留学生にアイチを見せよう！－	出掛ける場所を決める(電話での会話)	○			現在完了, 反復, 言い換え		○		4	50
2	6	Let's do some volunteer work! －ボランティア活動をしよう！－	ボランティア活動を決める(電話での会話)	○			現在完了, 反復, 言い換え		○		4	45
3	11	Good Advice! －カになりたいな！－	悩み事相談に答える(電子メールを書く)	○			全般		○		2	50
4	14	Jumbled Spelling Dictation －ごちゃまぜスペリング・ディクテーション－	単語のつづりを完成する(単語ゲーム)	○			疑問文, 主張表現	○			1	10
5	16	Playing Riddles －なぞなぞ－	なぞなぞの答えを考える	○			推測の表現, 比較の表現	○			1	15
6	18	Bingo －ビンゴゲーム－	ペアでビンゴゲームに取り組む	○			疑問文, 依頼表現, 比較・対照表現	○			1	5～10
7	20	Listen and Draw －聞き取り描写－	読み上げられる英文を絵で表す		○		疑問文, 主張・評価・説明の表現	○			1	20
8	22	Shipwrecked! －無人島生活の必需品は？－	無人島に持っていくアイテムを決定する(議論)		○		仮定法	○			1	50
9	24	Japanese Culture －日本文化紹介－	日本文化を紹介する(意見交換・発表)		○		接続詞, パラグラフを展開させる表現		○		3	50
10	28	Gun Control －銃規制の是非－	銃規制について考える(意見を書く・発表する)		○		理由・列挙			○	2	50
11	31	Style of Communication －間接的なコミュニケーションは是か否か－	自分の意見をまとめる(意見を書く・発表する)			○ (全体)	同意, 興味, 疑問, 主張			○	2	50
12	34	School Life －留学生に学校のことを説明しよう－	学校生活を説明する		○		現在時制, 過去時制, 未来時制, 受動態		○		3	100
13	39	Values for My Life －人生で大切なもの－	人生で大切なことを説明する(プレゼンテーション)	○			全般		○		2	50
14	42	What is the greatest invention for communication?－最も優れた伝達手段は？－	比較検討して優れたものを選ぶ(理由を説明する)		○		比較, 目的を表す不定詞, 理由を表す接続詞		○		1	50
15	44	How to display materials －学校祭展示で優勝を目指せ－	展示物の配置を検討し, 発表する。		○		前置詞, 目的を表す不定詞, 理由を表す接続詞		○		1	50
16	46	Write to Emma (Give her advice)	手紙の返事を書く	○			仮定法過去, 理由を表す接続詞		○		1	45～50
17	48	My Future Plan －英語で夢を語ろう－	自分の将来について語る(考えをまとめ発表する)	○			未来時制, 疑問文		○		1	50
18	50	Who should receive the scholarship? －奨学金をもらえるのはだれか？－	ふさわしい人物を選ぶ(意見交換・発表)	○			比較級, 最上級, 理由を表す接続詞, 助動詞		○		1	50
19	52	What we can do to help the earth.	何をなすべきかを決める(考えをまとめ発表する)		○		助動詞, 動名詞		○		3	45
20	56	Eating Out	レストランを決める(目的地を決める)		○		不定詞, 譲歩, 提案, 比較		○		2	40
21	59	Japanese Culture －日本の文化を紹介する－	日本の風物を説明・発表する		○		説明表現	○			1	20
22	61	Arrangement in Your Room	家具等の配置を説明する(聞き取って絵にする)	○			疑問文, 場所を表す表現, 色や大きさを表す表現	○			2	25
23	64	Roommates	条件を満たす人物を探す(相談・決定)	○			性格を表す形容詞, 助動詞, 疑問文, 相関を表す表現		○		1	35
24	66	How was your 2008? －2008年を漢字一文字で表すと－	一年を漢字一文字で表す(理由説明・発表)		○		理由を表す接続詞		○		1	50
25	68	Why don't you read this book? －お薦めの一冊－	本の紹介・推薦		○		推薦・提案表現		○		1	50
26	70	School Trip －新しい修学旅行先の検討－	旅行先の検討・決定・発表	○	○		理由を表す接続詞		○	○	1	50
27	72	Experiences in the workplace －夏休みの職場体験－	訪問先を決定する(選択・説明・発表)	○			理由, 条件を表す接続詞, 聞き返しの表現		○	○	2	50
28	75	SUMMER VACATION	出掛ける場所を決める(意見交換・発表)		○		全般	○			0	40
29	76	WINTER VACATION	料理の作り方を説明する(リスト・レシピの作成)	○			全般		○	○	0	45
30	77	Make Up the Story! (Introductory level)	オリジナルの物語をつくる(創作・発表)		○		全般	○			0	15
31	78	Make Up the Story! (Pre-intermediate・Advanced level)	オリジナルの物語をつくる(創作・発表)	○			依頼表現	○	○	○	0	35
32	79	At a Hatch on a Rainy Day －雨の日の帰り道－	自由会話作文	○		○ (個人)	現在時制, 過去時制, 未来時制, 受動態	○	○		0	20～50
33	81	Reduce(ごみの減量のために) －ペットボトルの代わりに・・・－	環境問題について考える(協議・発表)		○		全般		○	○	2	50
34	84	Reuse(再使用) －フリーマーケットに出店しよう－	フリーマーケットに出店する	○	○		全般		○		0	50
35	85	Recycle(再利用) －ごみの分別－	ごみの分別	○	○		全般	○			0	50
36	86	My English Learning History－私の英語学習歴－ To Improve My English－英語の力を付けるには－	英語の学習方法について考える(プレゼンテーション)	○	○		全般		○		4	50

タスク活動例 1

タイトル	Golden Week ー留学生にアイチを見せよう！ー	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	こどもの日に留学生と一緒に掛ける場所を決める。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク ----- 愛知県在住の高校生と、3か月前に来日した留学生ジムとの電話での会話である。		
手順	<p>1 プレ・タスク (5分)</p> <p>(1) 今日の授業の流れ及び活動の場面について説明する。(ワークシート1・2・3)</p> <p>(2) 各自でタスクの取り組み方について考えさせる。</p> <p>2 タスク活動 その1 (8分)</p> <p>(1) 日本の高校生から電話をかけ、こどもの日に掛ける場所について相談させる。</p> <p>(2) 相談の結果(一緒に掛ける場所)とそこを選んだ理由を書かせる。</p> <p>3 レポート (10分)</p> <p>(1) 10~15組のペアに選んだ行き先と選択の一番の理由を発表させる。</p> <p>(2) 残りの生徒には、発表を集計させ、「1年A組が選んだ留学生に見せたいアイチ・ベスト3」の表を完成させる。(→後で発表させる)</p> <p>4 言語的側面の活動 (15分)</p> <p>(1) タスク活動やオーラル・レポートで生徒が実際に使用した言語形式に対して助言するなどのフィードバックを与える。</p> <p>(2) ネイティブ・スピーカーが同じタスクを行った様子を録音したものを聞かせ、さらにそれを書き起こしたもの(別紙スクリプト)を使って、言語形式、機能、意味交渉、コミュニケーション方略に焦点を当て、分析活動を行わせる。</p> <p>5 タスク活動 その2 (8分)</p> <p>相手をかえて、同じタスクに取り組ませる。</p> <p>6 自己評価 (4分)</p> <p>ワークシートの自己評価欄に記入させる。</p>		
評価 タスク活動 その2のみ を評価の対 象とする。	<p>(タスクの完了)</p> <p>時間内にタスクを完了することができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで、コミュニケーションを継続することができた。</p> <p>(表現の能力)</p> <p>1 相手の発話に対して、適切に対応することができた。</p> <p>2 自分のもっている情報や希望を正確に伝えることができた。</p> <p>3 タスク活動その1と比較して、進捗度等についてまとめることができた。</p>		
留意点	録音されたテープのスクリプト(別紙スクリプト)を用いて言語形式(現在完了形・現在完了進行形等)や意味交渉(反復等)、コミュニケーション方略(言い換え等)などについて生徒に気付かせ、考えさせる。		

活動例 1 ワークシート 1 Golden Week <Sheet A>

<活動規定時間 10分>

あなたは、愛知県に住む高校生です。先週、オーストラリアからの留学生ジム君と、ゴールデンウィークのこどもの日に一緒に出掛ける話をしました。今日、続きを話したかったのですが、英語の先生に残されて、学校でジムと話すことができませんでした。ジムに電話をかけて相談して行き先を決めましょう。行き方や運賃については、行き先が決まった後で、正確に調べて知らせることも伝えましょう。

<タスク準備時間を活用しよう>
 (あなたのおすすめスポット)

(ジムに聞きたいこと)

◎どこに決まりましたか？ 理由は？

(タスク活動その1)

(タスク活動その2)

(行き先)	(行き先)
(理由) 1	(理由) 1
2	2
3	3

◎自己評価

1 タスクの完了	*タスクを完了できたか？	Yes / No
2 コミュニケーションの継続 (規定時間 10分)	*うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで規定時間コミュニケーションを継続できたか？	Yes / No
3 適切な発話	*相手の発話に対して、適切に対応できたか？	A・B・C
4 正確な発話	*自分のもっている情報や希望を正確に伝えることができたか？	A・B・C
5 私の進歩度！ タスク活動その1 と比較して	(進歩した / 変化なし / 悪くなってしまった) (具体的に良くなったところ / 悪くなったところ) (私が考える原因)	

活動例 1 ワークシート 2 Golden Week <Sheet B>

<活動規定時間 10分>

あなたは、オーストラリア出身の留学生ジム君です。日本に来て、3か月が過ぎました。先週、クラスメートとゴールデンウィークのこどもの日に一緒に出掛ける話をしました。クラスメートから電話がかかってきます。相談して行き先を決めましょう。

<タスク準備時間を活用しよう>

(あなたが今まで行ったことがある場所、聞いたことがある場所)

(あなたが興味のあること)

◎どこに決まりましたか？ 理由は？

(タスク活動その1)

(タスク活動その2)

(行き先)	(行き先)
(理由) 1	(理由) 1
2	2
3	3

◎自己評価

1 タスクの完了	*タスクを完了できたか？	Yes / No
2 コミュニケーションの継続 (規定時間〇分)	*うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで規定時間コミュニケーションを継続できたか？	Yes / No
3 適切な発話	*相手の発話に対して、適切に対応できたか？	A・B・C
4 正確な発話	*自分のもつ情報や希望を正確に伝えることができたか？	A・B・C
5 私の進捗度！ タスク活動その1 と比較して	(進歩した / 変化なし / 悪くなってしまった) (具体的に良くなったところ / 悪くなったところ) (私が考える原因)	

活動例1 ワークシート3

◎他のペアが選んだ行き先と理由をメモしよう！

ペア	選んだ場所	理由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

◎ 「1年A組が選んだ留学生に見せたいアイチ・ベスト3」の表を完成しよう！

アイチ・ベスト1	
アイチ・ベスト2	
アイチ・ベスト3	

活動例 1 別紙スクリプト タスクを行った様子を録音したテープを書き起こしたもの

- A: Hi, Jason. This is Rei.
- B: Oh, hi, Rei. How are you doing?
- A: Pretty good. Do you have time to talk now?
- B: Yeah, sure.
- A: I wanted to talk to you at school about Golden Week, but Ms. A kept me back after class to finish my homework. It was awful.
- B: Oh, really? I was kept back all the time in Australia. It's not a big deal.
- A: Do you remember we talked about going somewhere on May fifth?
- B: Yes, I'd still like to go somewhere. What do you have in mind?
- A: How about Meiji Mura or Inuyama Castle? Have you ever been there?
- B: Oh, actually, I went to Meiji Mura with my host family last weekend. It was OK, but we drove past Inuyama Castle. I'm not really into castles, so we didn't go. Besides, I've already been to Nagoya Castle twice.
- A: How about going to Oasis 21?
- B: Oasis 21? What's that?
- A: It's a small shopping center with lots of shops, restaurants and parks. They have live events on weekends. It's very spacious. So we can just hang out.
- B: Sounds all right, but shopping is not my thing. I'm more interested in spirituality and nature.
- A: Oh, really? I didn't know that. Well, then, how about Higashiyama Zoo and Botanical Gardens? I've been there so many times, and it's nice.
- B: Are you kidding? I don't want to see those poor animals in cages.
- A: OK, then. Is there somewhere you want to go?
- B: Well, yesterday I saw pictures in a magazine of people windsurfing down in Chita at a beach called um...Utsumi. In Australia I've been windsurfing for many years, and I'd love to try it here in Japan.
- A: Oh, that's really cool. I remember Utsumi was a very nice beach. My father took me there when I was a kid for fishing. I wouldn't mind going again.
- B: Great. Then, why don't we go to Utsumi on May fifth? How do we get there?
- A: Probably by train. I'll check on the computer. It shouldn't be so expensive, maybe around 1,000 yen one way. But I don't know about windsurfing.
- B: Oh, that's OK. Just going to the beach would be cool.
- A: Great! I'll call you later tonight after I check on the computer..
- B: OK. Talk to you then. Bye.
- A: Bye.

タスク活動例 2

タイトル	Let's do some volunteer work! ーボランティア活動をしよう！ー	レベル	所要時間
ねらい	休み中に行うボランティア活動を決定する。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク		
手順	<p>1 アメリカで勉強している日本人の高校生とタイ人の高校生との電話での会話である。</p> <p>2 それぞれが見付けてきたボランティア活動の情報を交換して、応募する活動を決める。</p> <p>1 プレ・タスク (8分)</p> <p>(1) 今日の授業の流れ及び活動の場面について説明する。(ワークシート1・2)</p> <p>(2) 各自に、与えられたシートのボランティア活動について確認させる。</p> <p>2 タスク活動 (10分)</p> <p>(1) 日本人留学生から電話をかける。</p> <p>(2) ボランティア活動の内容、時間、場所等について情報交換を行わせ、メモを取る。</p> <p>(3) 二人で意見交換をして、休み中に行うボランティア活動を決定する。その際、応募用紙の理由欄に書き込みができるように、理由を三つにまとめてメモを取る。</p> <p>3 レポート (8分)</p> <p>数組のペアにどちらのボランティア活動を選んだかを理由と共に発表する。残りの生徒は、自分たちの理由と一致していたかどうかチェックする。(→後で発表)</p> <p>4 自己評価 (3分)</p> <p>ワークシートの自己評価欄に記入する。</p> <p>5 言語的側面の学習 (16分)</p> <p>(1) タスク活動やオーラル・レポートで生徒が実際に使用した言語形式に対して助言するなどのフィードバックを与える。</p> <p>(2) ネイティブ・スピーカーが同じタスクを行った様子を録音したものを聞かせ、さらに、それを書き起こしたもの(別紙スクリプト)を使って、言語形式や意味交渉、コミュニケーション方略に焦点を当てて分析活動を行う。</p>		
評価	<p>(タスクの完了)</p> <p>時間内にタスクを完了することができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで、コミュニケーションを継続することができた。</p> <p>(表現の能力)</p> <p>1 相手の発話に対して、適切に対応することができた。</p> <p>2 自分のもっている情報や希望を正確に伝えることができた。</p>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーション・ギャップタスクでもあるので、タスク活動は1回のみが適切と考えるが、繰り返すかどうかは生徒のレベルや指導の目的に応じて決める。 ・言語的側面の学習に関しては、録音されたテープを書き起こしたもの(別紙スクリプト)を用いて言語形式(現在完了形・現在完了進行形等)や意味交渉(反復等)、コミュニケーション方略(言い換え等)などについて生徒に気付かせ、考えさせる。 		

活動例 2 ワークシート 1 Let's do some volunteer work! < Sheet A >

あなたは、アメリカで勉強している日本人の高校生です。夏休みの間に、タイ人の友達と一緒にボランティア活動をしてみたいと思っています。先週、ボランティアの募集記事の一つを見付けました。あなたのタイ人の友達も、ボランティアの募集記事を見付けたそうです。友達に電話をかけて情報を交換して、どのボランティア活動に応募するか決めましょう。

(あなたが見付けたボランティアの募集記事)

Nursing Care for Elderly People

Do you like to help elderly people?

Do you enjoy talking, singing, and playing games with them?

The Joslyn Center is looking for volunteers to help us entertain our elderly people.

Hours are 9:00 am -3:00 pm every Sat. and Sun.

132 Princess Road, Lawrenceville, Illinois

Interact Oral Communication I (桐原書店) p. 67

(友達が見付けたボランティア活動についての情報)

(決めた活動) ()

(理由)

1

2

3

◎自己評価

1	タスクの完了	*タスクを完了できたか?	Yes / No
2	コミュニケーションの継続	*うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで規定時間コミュニケーションを継続できたか?	Yes / No
3	適切な発話	*相手の発話に対して、適切に対応できたか?	A・B・C
4	正確な発話	*自分のもっている情報や希望を正確に伝えることができたか?	A・B・C

活動例 2 ワークシート 2 Let's do some volunteer work! < Sheet B >

あなたは、アメリカで勉強しているタイ人の高校生です。夏休みの間に、日本人の友達と一緒にボランティア活動をしてみたいと思っています。先週、ボランティアの募集記事を1つ見付けました。日本人の友達も、ボランティアの募集記事を見つけたそうです。友達から電話がかかってきます。情報を交換し、どのボランティア活動に応募するか決めましょう。

(あなたが見付けたボランティアの募集記事)

Teaching Assistant The Springfield Skill Center

is seeking enthusiastic, creative volunteers to co-teach handicapped people. We especially need your help to teach arithmetic and writing to children from 6 through 12.

Hours are 4:30 -6:00 pm daily.

10 East 53 Street, Springfield, Illinois

Interact Oral Communication I (桐原書店) p. 67

(友達が見付けたボランティア活動についての情報)

(決めた活動) ()

(理由)

1

2

3

◎自己評価

1	タスクの完了	*タスクを完了できたか?	Yes / No
2	コミュニケーションの継続	*うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで規定時間コミュニケーションを継続できたか?	Yes / No
3	適切な発話	*相手の発話に対して、適切に対応できたか?	A・B・C
4	正確な発話	*自分のもつ情報や希望を正確に伝えることができたか?	A・B・C

活動例 2 別紙スクリプト

タスクを行った様子を録音したテープを書き起こしたもの

A: Hello.

B: Hello. Who's this?

A: Hi, Kal. This is Mayumi. How're you doing?

B: Oh, hi, Mayumi. I'm good and you?

A: I'm OK.

A: Hey, listen. I remember us talking about looking at volunteer opportunities in the summer. Are you still interested?

B: Yes. I've been looking at a couple of different volunteer jobs and I found something. What about you?

A: Actually, I've found one that sounds really appealing. It involves working with elderly people at the Joslyn Center.

B: Working with elderly people at the Joslyn Center? Oh, OK. What do we have to do?

A: Oh, basically go there and talk with elderly people and sing songs. It's very simple.

B: Oh, you know how much I love to sing.

A: Yeah, I know. The hours are very convenient as well. It is only from nine to three every Saturday and Sunday.

B: From nine to three. Every Saturday and Sunday. That's pretty good.

A: So what do you think?

B: Well, I was also looking at a volunteer opportunity for the summer. Do you want to hear about it?

A: Oh, yes. Please tell me about it.

B: It is a teaching assistant position. It's at the Springfield Skill Center.

A: Where is it again?

B: The Springfield Skill Center. They are looking for enthusiastic and creative volunteers to help teach handicapped people.

A: Enthu..?

A: Enthusiastic, you know, people who have great passion.

A: Sounds good. I'm interested.

B: Yeah. They especially need people to help teach arithmetic and writing.

A: Well, I can definitely help with writing. I'm not so sure about arithmetic, though. I always have trouble with math.

B: Ah, me, too. Oh, maybe it is not such a good idea.

A: What are the hours like?

B: The hours are not bad. It's from 4:30 to 6 o'clock. But it's every day.

A: Oh, every day? I think I'll be busy on weekdays. I think it would be better if we had an opportunity on the weekend. What do you think?

B: Yeah, what is your job again?

A: The hours are from nine to three every Saturday and Sunday. It's on Princess Road.

B: Oh, Princess Road is close to me. What is the address?

A: Oh, it's 132 Princess Road.

B: That's really close to my house. Do we have to prepare anything for it?

A: No, actually we don't have to prepare anything. They will provide everything. We just go there and entertain elderly people. Do you want to do it?

B: Yeah, sign my name up. I really want to do that.

A: OK. I'll call them tomorrow and let them know both of us are interested.

B: OK. Thanks a lot for calling. See you soon. Bye-bye.

A: Bye-bye.

タスク活動例 3

タイトル	Good Advice! —力になりたいな!—	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	留学生の悩み事相談に電子メールで返事を書く。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク ----- スチューデント・サポートセンターでボランティアとして活動している高校生が、オーストラリアの留学生から送られてきた悩み事相談に電子メールで返事を書く活動である。		
手順	<p>1 プレ・タスク (7分) ワークシート1</p> <p>(1) 今日の授業の流れを説明する。</p> <p>(2) 活動の場面について説明する。</p> <p>(3) 各自に、送られてきた悩み事相談の内容について確認させる。</p> <p>2 タスク活動 その1 (15分) ワークシート1</p> <p>(1) どんなアドバイスをしたらよいか意見交換をさせる。</p> <p>(2) アドバイスの内容を2人で文章にして書かせる。</p> <p>3 レポート (8分) ワークシート2</p> <p>(1) 他のペアと交換して、意図した内容が伝わっているかチェックさせる。</p> <p>(2) 数組のペアに書面で書いたアドバイスを読み上げることで、報告させる。残りの生徒には、メモを取らせ、最後にどのペアのアドバイスが最も適切であるか、挙手させる。</p> <p>4 自己評価 (3分)</p> <p>ワークシート2の自己評価欄に記入させる。</p> <p>5 言語的側面の活動 (17分)</p> <p>生徒が使用した言語形式に対してアドバイスや助言などのフィードバックを与える。</p>		
評価	<p>(タスクの完了)</p> <p>時間内にタスクを完了することができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで、コミュニケーションを継続することができた。</p> <p>(表現の能力)</p> <p>自分たちの考えを伝えることができた。</p> <p>書式に適切に文章を構成することができた。</p>		
留意点	2回(手順1, 2と3, 4, 5)に分割して、タスク活動を行ってもよい。そうすることで教員が生徒が用いた言語形式に対してさらに的確なアドバイスや助言などのフィードバックを与えることができる。		

活動例3 ワークシート1

Let's write an e-mail giving advice and suggestions

あなたはスチューデント・サポートセンターでボランティアとして活動している高校生です。

ある日、オーストラリアの留学生からアドバイスを求める電子メールが届きました。

- 一緒に活動している友達と話をしてから、二人で返事を書きましょう。
- メールを送る前に、自分達の考えが明確に伝わっているかももう一度チェックしましょう。

送られてきた電子メール

My name is Jason Jones. I'm from Australia, attending ABC High School as an exchange student for six months. I'm wondering if you could help me or give me some advice on the problem I'm facing at the moment.

In school I'm attending a Japanese history class and I find the class extremely difficult to understand. As I don't understand much of the lesson, I tend to sometimes fall asleep. So I feel I'm not getting any benefit out of the lesson. If you were in my place, what would you do? Please give me some advice as to what I should do.

I'm looking forward to hearing from you.

Sincerely,

Jason Jones

意見交換のメモ

(2人からの返事)

活動例3 ワークシート2

◎他のペアの返事を聞いて、メモを取りましょう。

ペア	アドバイスの内容	評価（内容・言語） コメント
		A B C ・ A B C
		A B C ・ A B C
		A B C ・ A B C
		A B C ・ A B C
		A B C ・ A B C

◎自己評価

1 タスクの完了	*タスクを完了できたか？	Yes / No
2 コミュニケーションの継続	*うまく言えないところがあっても別の表現で言い換えるなど、様々な工夫をすることで規定時間コミュニケーションを継続できたか？	Yes / NO
3 表現する力	*自分たちの考えを伝えることができた。	A・B・C
	*書式に適切に文章を構成することができた。	A・B・C

タスク活動例 4

タイトル	Jumbled Spelling Dictation —ごちゃまぜスペリング・ディクテーション—	レベル 易	所要時間 10分
ねらい	文字の順番が入れ替わった単語を元に戻すゲームを楽しむ。 (英語 I・II, リーディング等での既習単語の復習)		
タスク・ イメージ	----- ペア・ワーク -----		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 既習単語の文字を入れ替えて読み上げ, 書き取らせる。 2 元の単語が何だったのか当てさせる。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (1分) タスクの説明をする。ペアでのやり取りはすべて英語を使うように指示する。 2 タスク活動 その1 (3分) ワークシート 教師が読み上げる文字を書き取り (e.g. A, C, E, E, H, R, T), 元の単語をペアで考える。分かったペアは答を書いてから挙手をして答える (5回行う)。 3 言語的側面の学習 (2分) 生徒が相談の場面で役立つ英語表現を紹介する。ペアの活動の中で良い表現があれば全体に伝える。板書して音読させる。 4 タスク活動 その2 (3分) ワークシート タスク活動その1で答えたペアに問題を考えさせ, 黒板に書かせる。他のペアは2分間で考え, それぞれ答えを書く。時間が来たら出題者は答えを言う。 5 自己評価 (1分) ワークシート <ul style="list-style-type: none"> ・ペア・ワークへの取組を自己評価する。 ・使えるようになった表現を記録する。 		
評価	<p>(タスクの完了) 正しい単語を書くことができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の語彙や表現を活用してペア・ワークに積極的に参加できた。</p> <p>(表現の能力) 語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 疑問文, 主張表現</p> <p>Do you have any idea? Does it start from A? I think ~. I got it.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での意見交換をする初歩的な練習として位置付けられる。 		

活動例 4 ワークシート Jumbled Spelling Dictation

☆Task 1

聞き取ったアルファベット	元の単語

☆Task 2

聞き取ったアルファベット	元の単語

☆自己評価

- ・元の単語を当てることができた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)
- ・ペアで英語のやり取りができた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)

☆使えるようになった英語表現を記録しよう！

--

☆Date () Class () No. () Name ()

タスク活動例 5

タイトル	Playing Riddles —なぞなぞ—	レベル 易	所要時間 15分
ねらい	なぞなぞを解く。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク ----- 英文のなぞなぞを聞き、相談して答える。		
手順	<p>1 プレ・タスク (1分) タスクの説明をする。ペアでのやり取りはすべて英語を使うように指示する。</p> <p>2 タスク活動 (6分) ワークシート 教師が読み上げるなぞなぞの答えを考え、ペアで相談する。一番面白かったなぞなぞはどれか、相談して決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) What has two hands and a face, but no arms or legs? (A clock.)</p> <p>(2) What has teeth, but can't chew? (A comb.)</p> <p>(3) What has ears, but can't hear? (Corn.)</p> <p>(4) What can you serve, but never eat? (A tennis ball.)</p> <p>(5) How many bricks does it take to finish a house? (Only one. The last one)</p> <p>(6) Two teachers teach at the same school. One is the father of the other's son. What relation are they to each other? (Husband and wife.)</p> <p style="text-align: right;"><i>101 American English Riddles</i> (Passport Books) より</p> </div> <p>3 レポート (4分) 答えが分かったペアに答えを発表させる。最後に、どのなぞなぞが一番面白かったか、発表させる。</p> <p>4 言語的側面の学習 (3分) 相談するときに役立つ英語表現を紹介する。ペアの活動の中で良い表現があれば全体に伝える。板書して音読させる。</p> <p>5 自己評価 (1分) ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア・ワークへの取組を自己評価する。 ・使えるようになった表現を記録する。 		
評価	<p>(タスクの完了) なぞなぞが解けた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 積極的にペア・ワークに参加できた。</p> <p>(表現の能力) 新しい語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目)</p> <p>推測の表現 I guess it is ~. It may be ~. It must be ~. I think so, too. I got it. I don't know. Can you guess?</p> <p>比較の表現 No. 2 is more fun than No. 3. No. 2 is the best of all.</p>		

活動例 5 ワークシート Playing Riddles - なぞなぞ -

1
2
3
4
5
6

・一番面白かったなぞなぞに○を付けよう！

☆自己評価

- ・なぞなぞを解くことができた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)
- ・ペアで英語のやり取りができた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)

☆学んだ英語表現を記録しよう！

--

☆Date () Class () No. () Name ()

タスク活動例 6

タイトル	Bingo ービンゴゲームー	レベル 易	所要時間 5～10分
ねらい	読み上げられる単語・フレーズを聞き取り，ビンゴゲームを楽しみながら英語表現に親しむ。(英語 I・II，リーディング等での既習単語・表現の復習)		
タスク・イメージ	ペア・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 ペアで相談してビンゴカードに記入する単語を決める。 2 単語の聞き取りについてペアで協力して，ビンゴ達成を目指す。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (1分) タスクの説明をする。ペアでのやり取りはすべて英語を使うように指示する。 教師が二つずつ組にした単語を9組読み上げるので，ペアで相談してどちらかの単語をビンゴカードに記入することを伝える。 2 タスク活動 その1 (2分) ワークシート 各ペアは相談して，教師が読み上げる各組の単語からビンゴカード(ワークシート)に記入するものを選び，記入する(e.g. Write either 'blue' or 'red'.)。ビンゴカードの空欄がすべて埋まるまで選択を続ける。 ゲーム開始で教師は一つずつランダムに単語を読み上げ，生徒は聞き取った単語がカードにあれば，○で囲んでいく。列がそろえば，そのペアの勝利である。 3 オーラル・レポート (1分) 勝利となったペアは，読み上げられた単語を読む。その他のペアは再度聞き取り，確認する。 4 言語的側面の学習 (2分) 相談するとき役立つ英語表現を紹介する。ペア・ワーク活動の中で良い表現があれば全体に伝える。板書して音読させる。 5 タスク活動 その2 (3分) ワークシート 同様の手順で再度行う。今回は3語ほどのフレーズを読み上げる。 6 自己評価 (1分) ワークシート ・ペア・ワークへの取組を自己評価する。 ・使えるようになった表現を記録する。 		
評価	<p>(タスクの完了) ビンゴカードを作成し，ビンゴを達成できた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 積極的にペア・ワークに参加できた。</p> <p>(表現の能力) 語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 疑問文，依頼表現，比較・対照表現</p> <p>Which do you choose, A or B? I like A. Please write A. A is easier to write.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での意見交換をする初歩的な練習として位置付けられる。 ・ビンゴのマスの数は，塗りつぶしたり，斜線を施したりして減らしてもよい。 		

活動例 6 ワークシート

BINGO

BINGO

☆自己評価

- ・ビンゴを達成できた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)
- ・ペアで英語のやり取りができた。 (よくできたーできたーあまりできなかった)

☆使えるようになった英語表現を記録しよう！

--

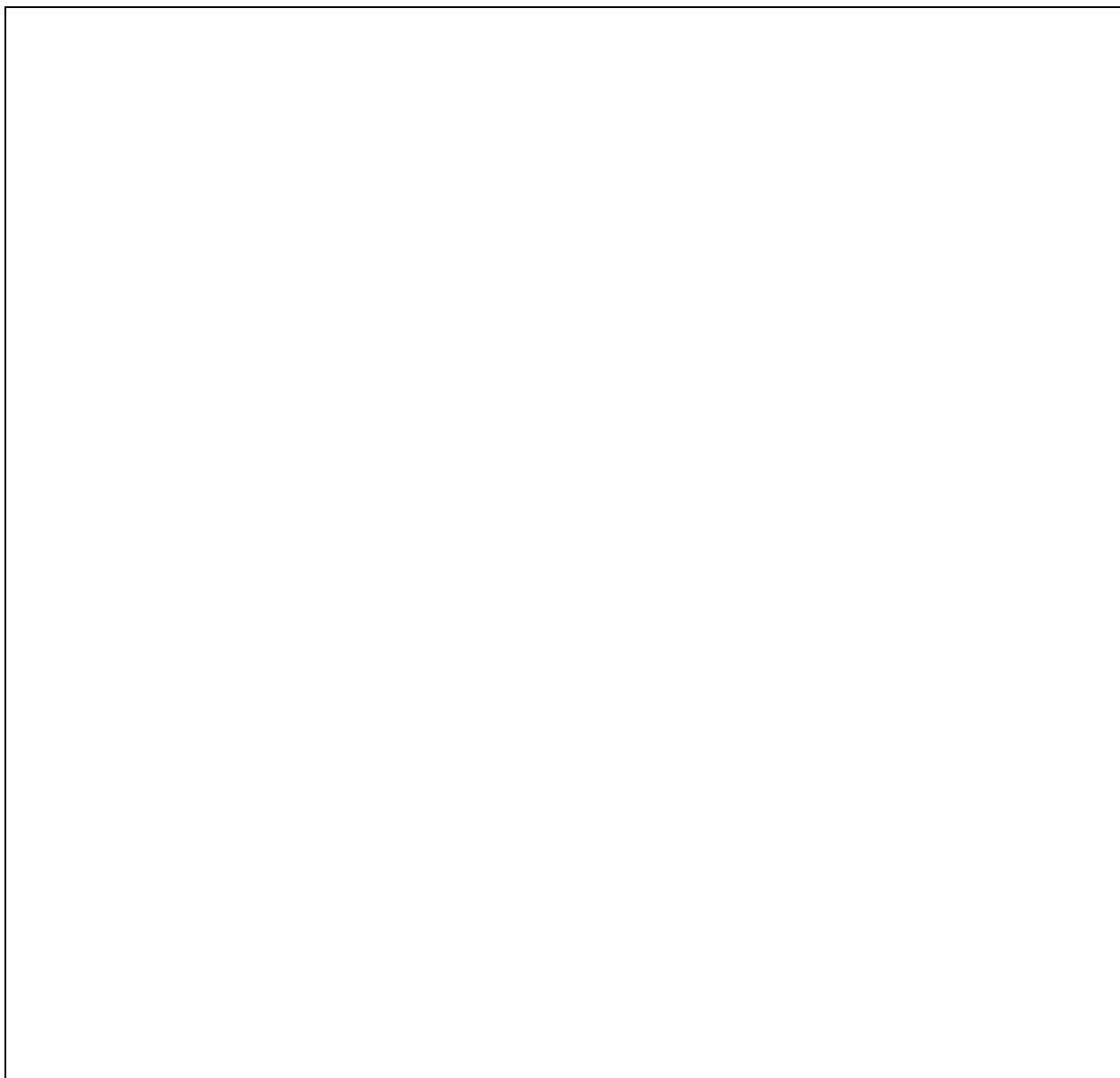
☆Date () Class () No. () Name ()

タスク活動例 7

タイトル	Listen and Draw －聞き取り描写－	レベル 易	所要時間 20分
ねらい	読み上げられる英文を絵で表す。		
タスク・ イメージ	グループ・ワーク（4人）		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 ある状況を説明する英文を読み上げ，絵で表現する。 2 グループ内で絵を見せ合い，意見を交換する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（2分） タスクの説明をする。ペアでのやり取りはすべて英語を使うように指示する。 2 タスク活動（8分） 教師が読み上げる英文の内容を絵で描写する。1文ごとに1分程度の間隔をとる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>There is a big mountain There are many trees on the mountain. You can see a long river with two bridges. A man wearing a cap is walking in the mountain with a dog. It is raining hard, so he is holding an umbrella. A mouse is hitting a cat on a boat. A woman in red is laughing at the scene on the bridge.</p> </div> <p>個人での描写が終了したら，4人のグループの中で絵を見せ合う。元の英文の情報を確認し合いながら，最もよく描けているものを選ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 レポート（4分） グループの代表に，絵のどの部分が何を表しているか説明させる。 4 言語的側面の学習（5分） 相談するとき役立つ英語表現を紹介する。ペア・ワーク活動の中で良い表現があれば全体に伝える。板書して音読させる。 5 自己評価（1分） <ul style="list-style-type: none"> ・ペア・ワークへの取組を自己評価する。 ・使えるようになった表現を記録する。 		
評価	<p>（タスクの完了） 英語を聞き取り，絵を描くことができた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 積極的にグループ・ワークに参加できた。</p> <p>（表現の能力） 語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 疑問文，主張・評価・説明の表現</p> <p>Whose drawing is the best? I think ～, because ...</p> <p>Your drawing is good. This is something. There are something.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での意見交換をする初歩的な練習 		

活動例7 ワークシート

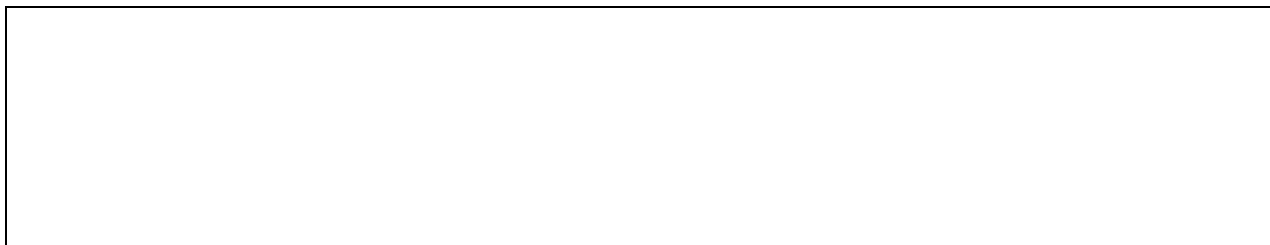
Listen and Draw ー聞き取り描写ー



☆自己評価

- ・英語に合った絵を描くことができた。(よくできたーできたーあまりできなかった)
- ・グループで英語のやり取りができた。(よくできたーできたーあまりできなかった)

☆学んだ英語表現を記録しよう！



☆Date () Class () No. () Name ()

タスク活動例 8

タイトル	Shipwrecked! —無人島生活の必需品は？—	レベル 易	所要時間 50分
ねらい	架空の無人島に持っていくアイテムを決定する。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク（4人）		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（5分） 難破船にいと仮定して、近くの無人島に三つのアイテムを持って避難するという状況を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">You are on a sinking ship. You can take only 3 things with you to the desert island. What will you take?</p> </div> <p style="text-align: center;">アイテムの例を挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>There are these items on the ship:</p> <p>(1) A cell phone (2) A bottle of water (3) A lighter (4) A radio (5) A blanket (6) A photo of your friends of family (7) A friend (8) A dog (9) A cat (10) An ax (11) A knife (12) A book (13) A rope (14) A hammer (15) A pencil and paper (16) Pants</p> </div> 2 タスク活動（15分） ワークシート※「グループ・シート」 生徒は4人のグループでアイテムを決めて、その理由をまとめて書く。発表者も決める。 3 レポート（20分） ワークシート※「記録シート」 各グループの代表が発表する。他の生徒は記録する。 生徒の感想や挙手などの方法で、優れたグループを決定する。 4 言語的側面の学習（7分） 優れたグループの発表を中心にして、英語表現・文法・語法の面で参考となる点や改善すると良い点を説明する。グループ内の相談場面で役立つ表現を紹介する。 5 自己評価（3分） ワークシート※「グループ・シート」 生徒は本時の活動について自己評価する。 		
評価	<p>(タスクの完了) グループ内でアイテムの決定に貢献できた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 仮定法 I would take ~</p> <p>・アイテムの例は必要に応じて提示する。生徒にすべて考えさせることもできる。</p>		

活動例 8 ワークシート

Shipwrecked! ー無人島生活の必需品は？ー

Group _____ 年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

※「グループ・シート」

★Item 1. _____ 2. _____ 3. _____
★Reason _____

※「記録シート」

Group 1.	(A・B・C)
2.	(A・B・C)
3.	(A・B・C)
4.	(A・B・C)
5.	(A・B・C)
6.	(A・B・C)
7.	(A・B・C)
8.	(A・B・C)
9.	(A・B・C)
10.	(A・B・C)

※「評価シート」

1 グループ内でアイテムの決定に貢献できた。	(A・B・C)
2 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。	(A・B・C)
3 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。	(A・B・C)
★具体的に書いてみよう：	

タスク活動例 9

タイトル	Japanese Culture — 日本文化紹介 —	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	日本独特の文化について意見を交換して、考えを深める。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) ワークシート1 ※「Writing Sheet」 準備してきた作文を口頭で発表できるように準備する。(語彙の確認, 音読練習等) 2 タスク活動 (20分) ワークシート2 ※「Group Work」 グループ内で作文を発表する。聞き手は記録を取る。不明な点や疑問点に対して質問したり, 意見交換したりする。 3 オーラル・レポート (15分) ワークシート3 ※「Special Speech」 各グループの代表が発表する。他の生徒は記録する。教師はそれぞれのスピーチに簡潔にコメントする。 4 言語的側面の学習 (5分) 英語表現や文法の面で参考となる点や改善すると良い点を説明する。グループ内の相談の場面で有効な表現などをアドバイスする。 5 自己評価 (5分) ワークシート3 ※「Review of your activity」 生徒は本時の活動について自己評価する。 		
評価規準	<p>(タスクの完了) 作文を完成し, 口頭で発表できた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の表現を活用してコミュニケーションを図り, 活動に積極的に参加できた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 接続詞, パラグラフを展開させる表現</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 時間の流れ, 手順, 追加を示す語句: first, to begin with, initially, second, next, third, finally, also, and, besides, moreover, in addition (2) 具体例: for example, such as~, ~and so forth, A good example is~ (3) 比較・対照: similarly, however, in contrast, on the other hand (4) 譲歩・逆説: but, however, nevertheless, yet, anyway, at the same time (5) 結果: consequently, so, therefore, thus, as a result, after all (6) 要約: in short, as a rule, in conclusion, to sum up, The point is~ <ul style="list-style-type: none"> ・新しいALTに対する日本文化の紹介として作文させるとよい。実際にALTに授業に参加してもらったり, 作文にコメントをもらったりするなどして, 自分の英語表現がALTに理解されることを実感させる。 ・グループ内で相談してから一つの作文を完成し, 発表させることもできる。 		

活動例 9 ワークシート 2

※Group Work

Try to use as much English as possible!

Title: _____ Speaker: _____ ☆Topic ☆Comments ☆Clarity A—B—C ☆Eye Contact A—B—C ☆Contents A—B—C
Title: _____ Speaker: _____ ☆Topic ☆Comments ☆Clarity A—B—C ☆Eye Contact A—B—C ☆Contents A—B—C
Title: _____ Speaker: _____ ☆Topic ☆Comments ☆Clarity A—B—C ☆Eye Contact A—B—C ☆Contents A—B—C
Title: _____ Speaker: _____ ☆Topic ☆Comments ☆Clarity A—B—C ☆Eye Contact A—B—C ☆Contents A—B—C

注意：本用紙を「印刷用原稿」として利用し、印刷後、切り離して生徒全員に配付する。

タスク活動例 10

タイトル	Gun Control —銃規制の是非—	レベル 難	所要時間 50分
ねらい	アメリカにおける銃規制の是非について考える。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク（4人）		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（前時+10分） アメリカの銃規制についての英文（別紙）を読み、自分自身の考えを英文で書く。 2 タスク活動（15分） ワークシート (1) グループ内で自分の考えを発表する。他の人の意見は賛成・反対の区別をしてメモを取る。 (2) 各グループの代表がグループ内の意見を発表する。新しい意見はメモを取る。 3 レポート（10分） ワークシート 他の人の意見も参考にしながら、自分の最終的な考えをまとめる。 4 言語的側面の学習（10分） 英語表現・文法・語法の面で参考となる点や改善すると良い点を説明する。グループ内のやり取りで有効な表現なども取り上げる。 5 自己評価（5分） ワークシート 生徒は本時の活動についての感想を書く。日本語でよい。 		
評価	<p>（タスクの完了） テーマについて自分の意見を具体的に表現できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>（表現の能力） 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 理由・列挙</p> <p>Why would you be for/against the gun control? There are three reasons. First ... Second ... Third ... For these reasons I would be for/ against the gun control.</p> <p>・教科書等の英文の内容について自分自身の考えをもち、生徒同士で発表し合うタスクがあることを事前に知らせることで、英文を主体的に読解しようとする態度を養う。</p>		

活動例 10 ワークシート

Gun Control ー銃規制の是非ー

☆ If I were an American citizen,

I would be (for / against) the gun control in the U. S.

☆ Opinion of your friends

1 (for)

2 (against)

☆ Final Answer

☆今日の活動の感想

Date _____ Class _____ No. _____ Name _____

活動例 10 別紙

Gun Control 『知の風景 国公立入試長文へのアプローチ』山口書店

Americans participated in a great debate throughout the 1960s and 1970s. The debate continues into the 1980s and 1990s. It is the argument over whether the use of the 150 million handguns, shotguns, and rifles in the United States should be restricted or banned altogether. And if so, how?

(以下、著作権保護のため省略)

タスク活動例 11

タイトル	Style of Communication －間接的なコミュニケーションは是か非か－	レベル 難	所要時間 50分
ねらい	日本の間接的なコミュニケーション様式についての英文を読み、それについての自分の意見と他生徒の意見を比べて、考えを深める。		
タスク・イメージ	クラス全体（読み書きの作業は1人で行う）		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（前時） ワークシート ☆ Do you think "indirect style of communication" is good or bad? Please explain. 日本の間接的なコミュニケーション様式についての英文（別紙）を読み、自分自身の意見を英文で書いて提出。教員はクラス全員分の意見を印刷する。 2 タスク活動 その1（15分） ワークシート ☆ Opinion of your friends クラス全員分の意見について、自分と異なる意見を中心に読み、特に印象に残った意見を二つメモする。 3 レポート（10分） 5人程度を指名し、メモした意見とそれについての感想を発表させる。 4 言語的側面の学習（10分） 英語表現・文法・語法の面で参考となる点や改善するとよい点を説明する。発表時に有効な表現なども取り上げる。 5 タスク活動 その2（10分） ワークシート ☆ Final Answer 他の人の意見も参考にしながら、自分の最終的な考えをまとめる。 6 自己評価（5分） ワークシート 生徒は本時の活動についての感想を書く。日本語も可とする。 		
評価	<p>（タスクの完了） テーマに基づいて自分の意見を英語で具体的に表現できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>（表現の能力） 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 同意 I agree/disagree with ..., 興味 I am interested in ..., 疑問 I wonder ..., 主張 I think that ...</p> <p>・英文テキスト教材の内容について自分自身の考えを英語で書き、互いの英文を読むことを事前に知らせ、テキストを主体的に読解しようとする態度を養う。</p>		

活動例 11 ワークシート
Style of Communication

☆ Do you think "indirect style of communication" is good or bad? Please explain.

(good / bad / neither)

☆ Opinion of your friends

1 (good / bad / neither) No. ____

2 (good / bad / neither) No. ____

☆ Final Answer

☆今日の活動の感想

Date ____ Class ____ No. ____ Name _____

活動例 11 別紙

Style of Communication 『知の風景 国公立入試長文へのアプローチ』山口書店

Compared with Western languages, the typical style of communication in Japanese is intuitive and indirect. The basis of this style is a set of cultural values that emphasize empathy and are so widely shared that overt verbal communication often is not required.

(以下, 著作権保護のため省略)

タスク活動例 12

タイトル	School Life －留学生に学校のことを説明しよう－	レベル 中	所要時間 100分（2時間分）
ねらい	新しくクラスの仲間になった，交換留学生に学校生活について説明しよう。 (部活動／行事／生徒会活動／集団生活／クラス役員／教科・科目等)		
タスク・イメージ	ペア・ワーク		
手順	<p>1 日本に来るのは初めてで，一年間の留学期間の交換留学生と想定する。担任の先生から，1か月間その留学生のアテンドを依頼された。</p> <p>2 学校行事を一つ選んで，それを説明する。</p> <p>3 会話形式でダイアログをつくる。</p> <p>4 全体の前で，そのスキットを発表。自己評価，クラス評価，及び教員評価の総合評価をしながら，フィードバックを行う。</p>		
	<p>1 プレ・タスク（1時間目：15分） 【ブレーン・ストーミング】</p> <p>(1) クラス全体で学校行事を挙げて英語に直す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>始業式 (Opening Ceremony), 離任式 (Farewell Ceremony for Transferring Staff), 学校祭 (School Festival/Cultural Festival and athletic meet), 球技大会 (Ball Games), 修学旅行 (School Excursion), 大学入試センター試験 (Center Test / Government Sponsored Entrance Examinations for Public and Private Universities), 水泳訓練 (long-distance swim training)</p> </div> <p>(2) それぞれの行事に必要な語彙を挙げさせて，英語に直していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>e.g. (Athletic meet)</p> <p>program, cheering contest, person in charge of, piggy back fight, 100 meter race, obstacle race, number, basketball game, tug of war, three-legged race, line up, entrance, exit, stumble, come in last, inter-class relay, break away, pass the baton, etc.</p> </div> <p>(3) Conversation Strategy の一つである"Rejoinders"(相づちの打ち方)及び Follow Up Questions を紹介する。 ワークシート 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(Rejoinders)</p> <p>I see ./ That's nice. / Oh, year? Oh, really! / That's great! / Wonderful / Oh, no. / You're kidding! / I can't believe it. / Sorry to hear that. / Is that right?</p> <p>(F.U. Questions)</p> <p>What...? / Where...? / When...? / What kind of...?</p> <p>How long / far / late / big / often / many / much...?</p> </div> <p>2 タスク活動（1時間目：35分） ワークシート 2</p> <p>(1) 生徒はペアでどの行事にするか選び，それを会話形式でダイアログを作成する。 (ダイアログの数を○個以上と決めておいてもよい)</p> <p>(2) ペアで会話練習</p>		

	<p>3 レポート（2時間目：30分） ワークシート3 各ペアで発表する。（人数の多いクラスは、時間制限してもよい） 他の生徒は、評価シートに記入する。</p> <p>☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。</p> <p>*言語活動フィードバック時、ビデオを見ながら説明できる。</p> <p>*数か月後に別の活動と照らし合わせて、どのくらい各自の発話が進歩し、改善したか振り返ることもできる。</p> <p>4 言語的側面の活動（2時間目：10分） 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面で参考になる点や改善するとよい点を説明する。</p> <p>5 （自己）評価（2時間目：10分） ワークシート3 生徒がこの活動について自己評価する。</p>
<p>評 価</p>	<p>（タスクの完了） ペアで協力してタスクを完成できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続）</p> <p>1 既習の語彙や表現を活用して対話・発表することができた。</p> <p>2 他のペアの発表を聞き、クラスの活動として貢献できた。</p> <p>（表現の能力） 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>
<p>留意点</p>	<p>（使用が予想される文法項目） 現在時制，過去時制，未来時制，受動態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Conversation Strategy 導入やダイアログ作成例は提示した方が分かりやすい。 ・ 少人数クラスが理想的。 ・ 口語表現チェックなどは、ALTなどNativeの協力があると更によい。 ・ 英英辞典の活用も望まれる。（電子辞書でもよい）

活動例 12 ワークシート 1

【Model Dialogue】 Boldface letters: Rejoinders & Follow Up Questions

(At break)

- 1 A: Hi, Yoko. I'd like to ask you one thing.
- 2 B: OK, Linda. **What's that?**
- 3 A: **Yeah**, about "Orienteering" that Mr.Hosono told us a little while ago.
- 4 B: **Oh**, that's one of the school events.
- 5 A: **I see**. I know the word "orienteering". How to do it actually?
- 6 B: **Oh, yeah?** We are divided into a group of five or six in class. And each group has to find landmarks on the way back from the starting point to our school.
- 7 A: **How many points** do we have to find?
- 8 B: 18 points.
- 9 A: **Wow!** Was it difficult for us to look for the points?
- 10 B: No, not that much. We are to have hints for the each point.
- 11 A: **All right**. I felt relieved to hear that. Then **when** are we going to do it?
- 12 B: On November 25th.
- 13 A: I am beginning to feel excited.
- 14 B: **Oh, are you?** I wish it would be fine on that day!
- 15 A: **What** will it be if it rains?
- 16 B: **Unfortunately**, it will be called off.
- 17 A: **Oh, no!** I will make a "Teru-Teru" doll tonight.

活動例 12 ワークシート 2

School Life ー学校行事ー

Class	No.	Name	Your Partner
Topic ()			
【Dialogue】			
1	A		
2	B		
3	A		
4	B		
5	A		
6	B		
7	A		
8	B		
9	A		
10	B		
11	A		
12	B		
13	A		
14	B		
15	A		
(At least you have to make 16 sentences.)			
16	B		
17	A		
18	B		
19	A		
20	B		

【Evaluation points】

- 1 Make at least 16 sentences. (1 point) 少なくとも 16 文ある。
- 2 Use conversation strategies at least 5 times. (1 point) 5 回以上 C S が使ってある。
- 3 Listeners can get a general idea of the dialogue. (1 point) 大まかな意味がつかめる。
- 4 Performer can make eye contact. (1 point) 話者はアイコンタクトをしている。
- 5 General Impression (1 oint) 全体の印象がよい。

活動例 12 ワークシート 3
Evaluation Sheet 評価シート

Pair	Your Comment	Your Evaluation					
1		5	4	3	2	1	0
2		5	4	3	2	1	0
3		5	4	3	2	1	0
4		5	4	3	2	1	0
5		5	4	3	2	1	0
6		5	4	3	2	1	0
7		5	4	3	2	1	0
8		5	4	3	2	1	0
9		5	4	3	2	1	0
10		5	4	3	2	1	0

Self-Evaluation 自己評価

1	Made at least 16 sentences.	1
2	Used conversation strategies at least 5 times.	1
3	Listeners could possibly get a general idea of our dialogue.	1
4	We could make eye contact.	1
5	We could enjoy ourselves together.	1

Total points

Your Comment

Teacher's Comment

--

タスク活動例 13

タイトル	Values for My Life －人生で大切なもの－	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	自分の考えを英文にまとめ、発表する。		
タスク・イメージ	<p style="text-align: center;">ペア・ワーク</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 1 人生において大切だと考えることを、その理由を含めて説明する。 2 ペアで質問や意見交換をしてブレインストーミングをする。 3 書式に沿って、英文を作成する。 4 作成した英文をクラスで発表する。		
手 順	1 プレ・タスク (10分) (1) ハンドアウト1に、人生において大切だと考えることを一つ書き、その理由をまとめる。(具体的な例 (a long and healthy life, a rich life, international fame, a world without war, etc.) を挙げながら、指示する) (2) ペア (又はグループ) で自分が大切だと考えることについて説明した後、質問や意見を述べ合って更に考えを練る。 2 タスク活動 (20分) ハンドアウト2を用いて、書式に従って、英文を書いていく。 3 レポート (15分) 各グループで発表する。(人数が多いクラスは、時間制限を設けてもよい) ☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。 4 言語的側面の学習 (5分) 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面で参考になる点や改善するとよい点を説明する。		
評 価	(タスクの完了) 1 ペアで協力してタスクを完成できた。 2 既習の語彙や表現を活用して発表することができた。 (コミュニケーションの継続) 他の人の発表を聞き、クラスの活動に貢献できた。 (表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。		
留意点	(使用が予想される文法項目) 全般 ・意見発表の基本的な一つの定型を提示して、それに従って書いて、発表する。 ・会話形式にしてペアで発表することもできる。 ・英語表現チェックなどは、ALTなど Native speaker の協力があると理想的である。		

活動例 13 ハンドアウト 1

Values for My Life —人生で大切なもの—

Class ____ No. ____ Name _____

あなたが人生の中で大切だと考えていることは何ですか？
理由を含め、友達に説明してみましょう。

タスク活動例 14

タイトル	What is the greatest invention for communication? －最も優れた伝達手段は？－	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	四つの伝達手段（電話、手紙、メール、会うこと）を比較し、状況に合った手段を選ぶ。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク（5人程度）		
手順	<p>1 プレ・タスク（3分） 各伝達手段が、どのような場面でのコミュニケーションに適しているかを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A Talking on the phone B Writing letters C Sending e-mail D Meeting face-to-face</p> </div> <p>2 タスク活動（20分） ワークシート (1) 状況を表す5文を示し、空所にA～Dを選んで記入させる。「シートA」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1 I'll choose () when I want to ask my friend about homework. 2 I'll choose () when I want to have contact with a teacher in my elementary school days. 3 I'll choose () when my friends and I must decide where to meet tomorrow. 4 I'll choose () when I have to talk about my future course. 5 I'll choose () when I thank my grandparents for presents.</p> </div> <p>(2) 各文の理由を英語で書き、グループ内で意見交換する。また、グループ内の意見をまとめるため、AからDの長所と短所を英語で書き、「シートB」の表を完成させる。</p> <p>3 レポート（20分） ワークシート 各グループは「シートB」の内容を発表する。それぞれを比較したり、具体的な状況を説明したりしながら発表できるとよい。他の生徒は配付された「記録用シート」に各グループのポイントをまとめ、比較し、優れた点について考える。挙手で最も優れていた発表内容を決定する。</p> <p>4 言語的側面の学習（5分） 「比較」「理由・目的」を表す表現等で、参考となる事項を説明する。</p> <p>5 自己評価（2分） ワークシート 生徒は本時の活動について「評価シート」に記入する。</p>		
評価	<p>(タスクの完了) ワークシートを完成し、その内容を英語で発表できた。 (コミュニケーションの継続)</p> <p>1 グループ内での話合いや発表に積極的に参加できた。 2 既習の表現を活用して、考えを伝え、他の人の意見を聞き理解できた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 比較, 目的を表す不定詞, 理由を表す接続詞</p> <p>・状況を表す文については、必要に応じて例文を示すが、各自で考えさせてもよい。 ・MAINSTREAM 英語 I（増進堂・平成15年度用）の章末問題（Lesson 7）を利用したタスクであり、本文の内容と関連付けて取り組ませることができる。</p>		

活動例 14 ワークシート

What is the greatest invention for communication?

「シートA」

<Communication tools> A Talking on the phone B Writing letters C Sending e-mail D Meeting face-to-face	
<Situations>	
1 I'll choose () when I want to ask my friend about homework. Reason: _____ _____	
2 I'll choose () when I want to have contact with a teacher in my elementary school days. Reason: _____ _____	
3 I'll choose () when my friends and I must decide where to meet tomorrow. Reason: _____ _____	
4 I'll choose () when I have to talk about my future course. Reason: _____ _____	
5 I'll choose () when I thank my grandparents for presents. Reason: _____ _____	

「シートB」(「記録用シート」として、もう1部生徒に配付する)

A <u>Talking on the phone</u>	
Advantages :	Disadvantages :
B <u>Writing letters</u>	
Advantages :	Disadvantages :
C <u>Sending e-mail</u>	
Advantages :	Disadvantages :
D <u>Meeting face-to-face</u>	
Advantages :	Disadvantages :

「評価シート」

1 グループ内での話合いや発表に積極的に参加できた。	(A・B・C)
2 これまでに学習した表現を活用して、考えを伝え、他の人の意見を聞き理解できた。	(A・B・C)

Group _____ 年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

タスク活動例 15

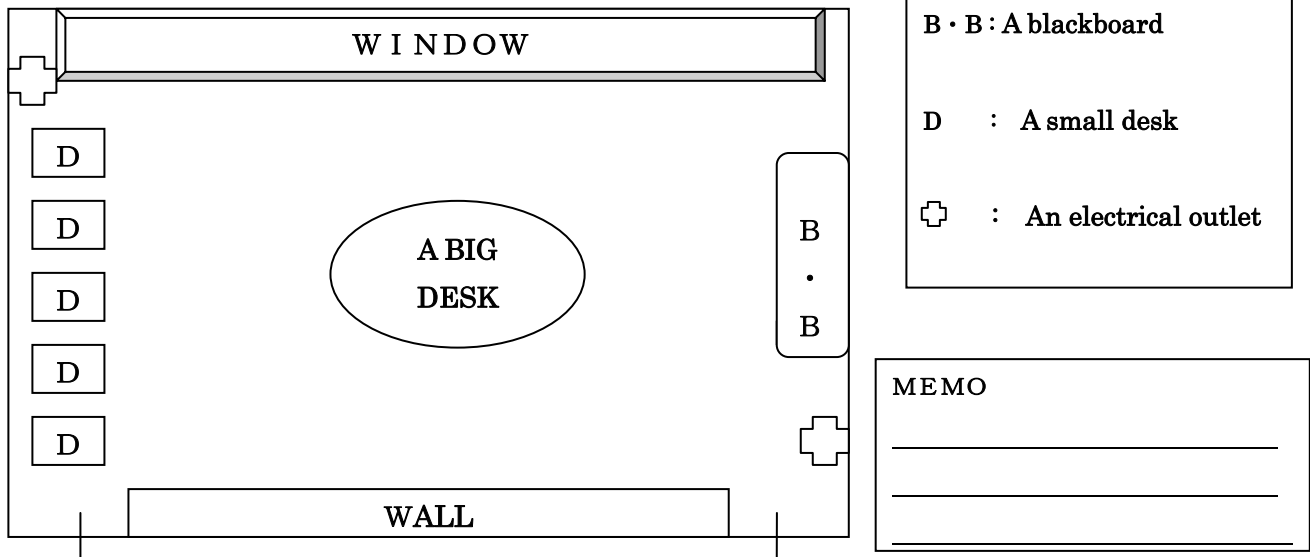
タイトル	How to display materials －学校祭展示で優勝を目指せ－	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	展示物の配置の仕方を話し合い，他のグループに伝える。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク（5人程度）		
タスク・イメージ	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校祭の展示発表（地震について）で使用する4アイテムと配置場所を考え，その理由を会話形式で発表できるようにする。 2 各グループでクラス全体に発表をする。 3 アイデアや発表の仕方が優れたグループを決定する。 		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（3分） 「地震」についての研究発表の展示方法を検討しているという状況を説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">You can use 4 materials to make a presentation on earthquakes. What will you use and where will you display them?</p> </div> 使用物品の例を挙げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">1 Research paper 2 Photos 3 TV and video 4 Computers 5 Catfish in the water tank 6 Shaking room 7 Newspaper 8 Quiz paper 9 Others</p> </div> 2 タスク活動（20分） ワークシート※「グループ・シート」，「ダイアログ例」 生徒はグループで使用物品を選び，配置場所を考えて展示部屋の企画図を完成させる。そのねらいや理由を盛り込んだ内容の会話を考える。 3 レポート（20分） ワークシート※「グループ・シート」 各グループがダイアログを発表する。他の生徒は記録用のグループ・シートに各グループの展示法をまとめ，比較し，優れた点について考える。 挙手で最も優れた展示方法や発表を決定し，教員が優れた点について述べる。 4 言語的側面の学習（5分） 「場所・位置」「理由・目的」を表す表現で，参考となる事項を説明する。 5 自己評価（2分） ワークシート※「評価シート」 生徒は本時の活動について評価シートに記入する。 		
評価	<p>（タスクの完了） 四つの物を選び，展示の仕方を決め，英語で展示について伝えることができた。</p> <p>（コミュニケーションの継続）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 グループ内での話し合いや会話活動に積極的に参加できた。 2 他のグループの意見を聞き，発表内容を理解できた。 <p>（表現の能力） 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 前置詞（put O）on/next to/in/in front of ～，目的を表す不定詞，理由を表す接続詞・使用物品例，ダイアログ例は必要に応じて提示する。</p>		

活動例 15 ワークシート

How to display materials — 学校祭展示で優勝を目指せ —

Group _____ 年 組 番 氏名 _____

※「グループ・シート」(記録用に生徒に配付)



※「ダイアログ例」

T: Have you made your plan?
 A: Well... I have a question. Can we move desks inside or outside the room?
 T: Yes, of course.
 A: Then, first, _____
 Second, _____
 B: Um... I don't like your second idea. _____

 A: I see. That'll be better.
 C: Next, _____

 D: I agree. As the last thing, _____

 T: Oh, all of your ideas sound interesting. _____

※「評価シート」

1 グループ内での話合いや会話活動に積極的に参加できた。 (A・B・C)
 2 既習の表現を活用して、考えを伝え、他の意見を聞き理解できた。 (A・B・C)
 3 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。 (A・B・C)
 ★具体的に書いてみよう: _____

タスク活動例 16

タイトル	Write to Emma (Give her advice)	レベル 中	所要時間 45～50 分
ねらい	相談の手紙に対する返事を書き、アドバイスをする。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 ペアでアドバイス内容を相談する。 2 何人かの生徒がアドバイス内容を述べる。 3 各自で返事の手紙を書く。 		
評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（8分） 新聞の身の上相談欄に載った次の手紙を読んで、アドバイスの内容を考える。 (聖心女子大学入試問題・改) <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Dear (your name)</p> <p>I always used to be late for appointment. However, I was cured when someone said that being late is a sign of self-love and conceit --- counting your time and convenience more important than another's. Now I am always on time. Perhaps that is why the lateness of my friend irritates me. She is always late, a half hour to an hour and a half, even for a dinner when others are involved. What would you do if you were in my place?</p> <p style="text-align: right;">Sincerely yours, <i>Emma</i></p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2 タスク活動（10分） ワークシート※「アドバイス・リスト」 アドバイス内容についてペアで話し合った後、英語で書く。 3 レポート（10分） ワークシート※「記録シート」 アドバイス内容を発表し、他の生徒は「記録シート」に聞いた内容をメモする。 4 言語的側面の学習（5分） 英語表現、文法・語法で参考となる点や改善すべき点を指摘する。 5 タスク活動（10～15分） ワークシート※「レター」 活動のまとめとして50語程度の手紙を書く（次の時間までの宿題としてもよい）。時間に余裕があれば、何名かの生徒に手紙を発表させる。 6 自己評価（2分） ワークシート※「評価シート」 生徒は本時の活動について評価シートに記入する。 		
留意点	<p>(タスクの完了) 学んだ表現を用いて、手紙を書くことができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) ペアでの話合いや意見の発表に積極的に参加できた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。</p> <p>(使用が予想される文法項目) 仮定法過去, 理由を表す接続詞</p> <p>・次の授業で手紙を発表させてもよい。モデルレターを示してもよい。</p>		

活動例 16 ワークシート

Write to Emma (Give her advice)

年 組 番 氏名 _____

※「アドバイス・リスト」

※「記録シート」

※「レター(50語程度の英語で)」

※「評価シート」

- | | | |
|---|-----------------------------|---------|
| 1 | ペアでの話合いや意見の発表に積極的に参加できた。 | (A・B・C) |
| 2 | 学んだ表現を用いて、助言をする手紙を書くことができた。 | (A・B・C) |
| 3 | 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。 | (A・B・C) |

★具体的に書いてみよう： _____

タスク活動例 17

タイトル	My Future Plan －英語で夢を語ろう－	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	将来の夢や、なりたい職業について、英語で話すことができる。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク		
タスク・ イメージ	<ol style="list-style-type: none"> 1 将来の夢、理由、やってみたいことについて英語で書いてみる。(シートA) 2 ペアで意見交換や質問をし、聞いた内容を英語でまとめる。(シートB) 3 数名の生徒が全体の前で「将来の夢」について発表する。 		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) 将来の夢、理由、やってみたいことについて各自で考えるように指示をする。 導入として、教師が「学生時代になりたかった職業とその理由」などを英語でスピーチしてもよい。 2 タスク活動 (20分) ワークシート 将来についての英文を「シートA」に書く。 相手の夢について質問し、「シートB」にまとめる。 3 レポート (15分) ワークシート 何人かの生徒に発表をさせる。自分の夢でもパートナーの夢でもよい。 他の生徒は「記録シート」に記入をする。 4 言語的側面の学習 (5分) 英語表現、文法・語法について参考となる点や注意すべき点を確認する。 5 自己評価 (5分) ワークシート 生徒は本時の活動について「評価シート」に記入をする。 		
評価	<p>(タスクの完了) 将来の夢について英語で書き、伝えることができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペア活動に積極的に参加できた。 2 既習の表現を活用して、考えを伝え、他の人の意見を聞き理解できた。 <p>(表現の能力) 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 未来時制, 疑問文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、最初に職業を表す語を提示し、そこから選ばせてもよい。 ・時間があれば、パートナーの夢について、感想を述べたり、英語でコメントを書いたりすると、活動を更に発展させることができる。 		

活動例 17 ワークシート

My Future Plan - 英語で夢を語ろう -

年 組 番 氏名 _____

「シートA」

< My Future Plan >

「シートB」

< My Partner's Future Plan >

< Comments >

「記録シート」

Speaker ()

Future Plan _____

Speaker ()

Future Plan _____

Speaker ()

Future Plan _____

「評価シート」

- 1 将来の夢について、これまでに学習した表現を用いて英語で書くことができた。(A・B・C)
- 2 ペア活動に積極的に参加し、他の人の意見を聞き理解できた。(A・B・C)
- 3 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。(A・B・C)

タスク活動例 18

タイトル	Who should receive the scholarship? -奨学金をもらえるのはだれか?-	レベル 中	所要時間 50分																				
ねらい	だれが奨学金をもらうべきかを話し合い、英語で意見と理由を書く。																						
タスク・イメージ	ペア・ワーク																						
	1 3人のうち、だれが奨学金をもらうべきかをペアで話し合う。 2 数人が意見を発表し、それに対して議論や意見交換を行う。 3 意見と理由を表す英文を書く。(50語以上)																						
手順	1 プレ・タスク (5分) 活動内容を指示し、各自で考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Only one student can receive the scholarship for studying abroad for one year. Who is the best student and why? Discuss in pairs and write the English passage including more than 50 words. </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">Sakura</th> <th style="text-align: center;">Ai</th> <th style="text-align: center;">Ryou</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Academic performance</td> <td>Excellent, good at English</td> <td>Average, but not so good at English</td> <td>Lower than average, but good at English</td> </tr> <tr> <td>Hobbies and interests</td> <td>Kendo (剣道)</td> <td>Leader of a student volunteer group</td> <td>Foreign movies</td> </tr> <tr> <td>Future plans</td> <td>Staff of the United Nations</td> <td>School teacher in Japan</td> <td>Movie director</td> </tr> <tr> <td>Goals for year abroad</td> <td>To study international politics</td> <td>To improve her English skills</td> <td>To experience a different culture</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(慶応大学入試問題・改)</p>				Sakura	Ai	Ryou	Academic performance	Excellent, good at English	Average, but not so good at English	Lower than average, but good at English	Hobbies and interests	Kendo (剣道)	Leader of a student volunteer group	Foreign movies	Future plans	Staff of the United Nations	School teacher in Japan	Movie director	Goals for year abroad	To study international politics	To improve her English skills	To experience a different culture
		Sakura	Ai	Ryou																			
Academic performance	Excellent, good at English	Average, but not so good at English	Lower than average, but good at English																				
Hobbies and interests	Kendo (剣道)	Leader of a student volunteer group	Foreign movies																				
Future plans	Staff of the United Nations	School teacher in Japan	Movie director																				
Goals for year abroad	To study international politics	To improve her English skills	To experience a different culture																				
	2 タスク活動 (ペア・活動) (13分) ワークシート※「話し合いシート」 だれが奨学金をもらうべきかとその理由をペアで話し合い、英語で書く。 3 レポート (10分) ワークシート※「記録シート」 数名が意見を発表する。他の生徒は「記録シート」にメモを取りながら聞く。発表の意見に賛成か反対かペアで話し合ってみる。 4 言語的側面の学習 (5分) 語彙・文法・語法で参考となる点や、話し合いに役立つ表現を説明する。 5 タスク活動 (15分) ワークシート※「英作文シート」 活動のまとめとして各自で50語以上の英文を完成させる。時間に余裕があれば、数名の生徒に英文を発表させる。 6 自己評価 (2分) ワークシート※「評価シート」 生徒は本時の活動について自己評価する。																						
評価	1 話し合いや発表に積極的に参加し、既習の表現を使って英文が書くことができた。 2 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。																						
留意点	(使用が予想される文法項目) 比較級, 最上級, 理由を表す接続詞, 助動詞																						

活動例 18 ワークシート

Who should receive the scholarship?

年 組 番 氏名 _____

※「話し合いシート」

・ _____ _____
・ _____ _____
・ _____ _____

※「記録シート」

・ _____ _____
・ _____ _____
・ _____ _____
・ _____ _____

※「英作文シート」 ※「Who should receive the scholarship?」

※「評価シート」

1 話し合いや発表に積極的に参加できた。 (A・B・C)
2 これまでに学習した表現を用いて、英文を書くことができた。 (A・B・C)
3 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。 (A・B・C)
★具体的に書いてみよう： _____

タスク活動例 19

タイトル	What we can do to help the earth	レベル 中	所要時間 45分
ねらい	地球の環境を守るために、何をすべきかを定めることができる。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク		
手順	<p>1 プレ・タスク (10分) ワークシート【Sheet A】 【Sheet A】を読み、空所に数字を入れる。答え合わせをしながら環境汚染の現状について知識を得る。</p> <p>2 タスク活動 (15分) ワークシート【Sheet B】【Sheet C】 グループに分かれ、個人として環境保護のためにできることを話し合い、実現可能性の高い方法の一つを選ぶ。【Sheet C】に理由と共に記入する。【Sheet B】を参考にしてもよい。</p> <p>3 オーラル・レポート (10分) 各グループの代表が発表する。他の生徒は記録する。 生徒の感想や挙手などの方法で、優れたグループを決定する。</p> <p>4 言語的側面の学習 (5分) 優れたグループの発表を中心にして、英語表現・文法・語法の面で参考となる点や改善するとよい点を説明する。 グループ内の相談の場面で有効な表現などをアドバイスする。</p> <p>5 (自己)評価 (5分) ワークシート【Sheet C】 生徒は自己の発表を自己評価する。</p>		
評価	<p>(タスクの完了) 環境保護の方法を決定するのに貢献することができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の語句や表現を駆使してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える表現や語句を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 助動詞：We can ~ / We should ~ 動名詞：Stop ~ing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて【Sheet A】の内容を解説する。 ・【Sheet B】の内容を解説して、【Sheet B】の中から案を選ばせてもよい。 		

活動例 19 ワークシート [Sheet A]

【Sheet A】は、<http://www.geocities.com/EnchantedForest/8319/savetheearth.html>を参照して作成した。

We've got to save our planet earth!

Oh, No! Our earth is in trouble, and we've got to save it!

Oh, No!: Bad Facts about our earth

- If you throw away () aluminum cans, you waste more energy than *1,000,000,000* (*one billion*) of the world's poorest people use a day.
- Making a new can from scratch uses the energy equal to () a can of gasoline.

(以下省略)

活動例 19 ワークシート [Sheet B]

【Sheet B】も同様に、<http://www.geocities.com/EnchantedForest/8319/savethearth.html> を参照して作成した。

26 things we can do to help:

- 1 Turn off lights.
- 2 Turn off other electric things, like TVs, stereos, and radios when not in use.
- 3 Use rechargeable batteries.
- 4 Do things manually instead of electrically, like open cans by hand.
- 5 Use fans instead of air conditioners.

(以下省略)

活動例 19 ワークシート [Sheet C]

地球環境を守るために私たちができることとして、あなたの具体案を表の空欄に書き入れましょう。

Ways to Help Save the Earth:

1.
2.
3.
4.

グループで話し合い、実現できそうな案を一つ選びましょう。

The best plan:

--

理由：

他のグループの発表を聞いて、よいと思う点を記録しましょう。

--

自己評価

- 1 環境保護の方法を決定するのに貢献することができた。 (◎ ○ △ ×)
- 2 既習の語句や表現を駆使してコミュニケーションを図ることができた。 (◎ ○ △ ×)
- 3 新たに使える表現や語句を学ぶことができ出来た。 (◎ ○ △ ×)

タスク活動例 20

タイトル	Eating Out	レベル 中	所要時間 40分
ねらい	夕食をとりに行くレストランを決めることができる。		
タスク・イメージ	<p style="text-align: center;">グループ・ワーク</p> <p>1 夕食をとりに行くレストランを相談する。</p> <p>2 どのレストランにするのか、なぜそこに決めたのかを発表できるようにする。</p> <p>3 グループの代表者がクラス全体に発表する。</p>		
手順	<p>1 プレ・タスク (5分) ワークシート【Sheet A】を配付し、ニューヨークで夕食をとりに行くレストランを決定するという状況を説明する。 You are in New York. You are going to decide with your friends where to eat dinner. You have a restaurant guide. What restaurant would you choose?</p> <p>2 タスク活動 (10分) 自分の行きたいレストランを決めて、理由をワークシート【Sheet B】に記入する。グループで意見を出し合いレストランを決める。ワークシート【Sheet C】に班員の意見を記入し、発表の際に利用する。</p> <p>3 オーラル・レポート (15分) グループの代表者はどのレストランに行くことにしたのか、その際に重要視した事柄を発表する。他のグループは聞きながらどのグループの発表が最も優れているかを決める。</p> <p>4 言語的側面の学習 (5分) 発表準備の際に利用できる表現を提示する。 発表に用いられた表現を幾つか取り上げ、解説を加える。</p> <p>5 (自己) 評価 (5分) 生徒は本時の活動について自己評価する。</p>		
評価	<p>(タスクの完了) どのレストランに行くか決定することができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>1 知っている語彙や表現を使って自分の意見を述べるとともに、相手の意見を聞き取ることができた。</p> <p>2 適切な表情・声量で自分の意見を発表することができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 不定詞: I want to~, 譲歩: Though~, That's a good idea but ..., 提案: How about~, 比較</p> <p>・本タスク活動は、Planet Blue Oral Communication I (旺文社) Unit 4 Topic B 「Choosing a Restaurant」(pp. 32-33) を利用したタスクである。</p>		

活動例 20 ワークシート【Sheet A】

Restaurant Guide:

Steakhouse

MAXIMUM

Special weekday buffet \$19.50

Open 7days

5 pm – 11pm

914 Second Avenue

TEL. 212-4XX-8214

WA-FU

JAPANESE FOOD

Open for

Lunch and Dinner

Noon to midnight

Wide variety of excellent Japanese dishes

BETWEEN 38th AND 39th STREET

212-64X-1654

NEW OPEN!

Traditional Italian Food

V I E N N E

OPEN

MONDAY – FRIDAY

202 BROADWAY NEWYORK

TEL 212-41X-1729

黄金城酒家

GOLDEN CASTLE RESTAURANT

Chinese cuisine of all regions

fine & cozy atmosphere

191E 58th ST. NEW YORK

212-79X-4777

活動例 20 ワークシート【Sheet B】

Restaurant: _____
Reason : _____

Example:

Restaurant : McDonald's
Reason : I want to go to "McDonald's" because I have long wanted to try "the Big Mac".
McDonald's Value Set is very cheap and what is more, Big Mac is a nutritious diet.

活動例 20 ワークシート【Sheet C】

Name : _____	Name : _____
Restaurant : _____	Restaurant : _____
Reason : _____	Reason : _____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
Name : _____	Name : _____
Restaurant : _____	Restaurant : _____
Reason : _____	Reason : _____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
Name : _____	Name : _____
Restaurant : _____	Restaurant : _____
Reason : _____	Reason : _____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

自己評価 :

- 1 レストランを決めるのに貢献できた。 (◎ ○ △ ×)
- 2 知っている表現や語句を使ってコミュニケーションを図ることができた。 (◎ ○ △ ×)
- 3 新たに使える表現や語句を学ぶことができた。 (◎ ○ △ ×)

タスク活動例 21

タイトル	Japanese Culture ー日本の文化を紹介するー	レベル 易	所要時間 20分
ねらい	日本の風物を英語で説明できる。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本<small>の</small>風物や文化について説明する方法をグループ内で相談する。 2 代表者が発表し、何<small>について</small>の説明かを当てさせる。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（3分） タスクについての説明を受ける。ワークシートを受け取り、4文で説明し、クイズをつくることを理解する。 2 タスク活動（5分） ワークシートに説明文を記入する。後でクイズにすることを考えて、どのような説明文にすればよいのかをグループで考える。 3 オーラル・レポート（5分） 代表者が説明文を発表する。他のグループは何<small>について</small>説明しているのかを推測し、分かったグループは挙手して答える。 4 言語的側面の学習（5分） 各グループの発表の中で参考になる語彙や文法事項を取り上げ、指導・解説する。 5 （自己）評価（2分） 本時の活動について自己評価する。 		
評価	<p>（タスクの完了） 説明文の作成に貢献し、説明文を完成できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 既習の語彙や表現を活用して説明文を考えることができた。</p> <p>（表現の能力） はっきりと分かりやすい声で発表することができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） This is ~ 何<small>について</small>説明するかは生徒自身に考えさせてもよい。</p>		

活動例 21 ワークシート

寿 司	Explanation: 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
--------	--

ひ な 祭 り	Explanation: 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
------------------	--

お 見 合 い	Explanation: 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
------------------	--

お 年 玉	Explanation: 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
-------------	--

自己評価

- 1 積極的に説明を考えることができた。 (◎ ○ △ ×)
- 2 既習の語彙や表現を使ってコミュニケーションを図ることができた。 (◎ ○ △ ×)
- 3 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。 (◎ ○ △ ×)

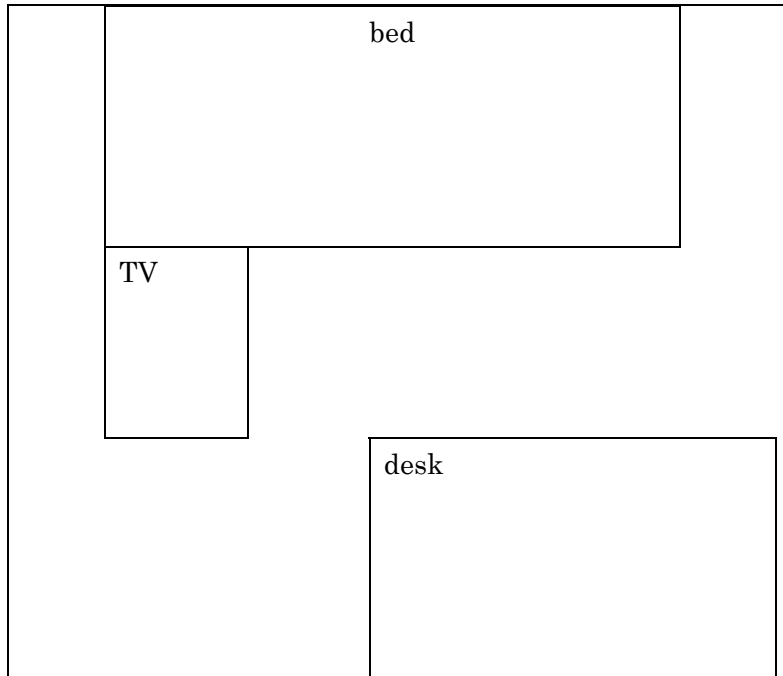
タスク活動例 22

タイトル	Arrangement in Your Room	レベル 易	所要時間 25分
ねらい	部屋の家具等の配置を説明できる。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク ----- 部屋の家具等の配置を口頭で説明し、相手に理解してもらう。		
手順	<p>1 プレ・タスク (5分) 自宅の部屋の家具等の配置図を描き、ベッド・テレビなどの名称を英語で示しておくように指示する。【Sheet A】 次の語句を示してもよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">desk, bed, television, stereo, air conditioner, bookshelf, sofa, rug, pillow, etc.</div> <p>2 タスク活動 (10分) 質問をしながら、パートナーの家の部屋の配置図を再現する。 (Do you have a bed? など) 【Sheet B】</p> <p>3 言語的側面の学習 (5分) 生徒同士のやり取りを聞き、質問したり、聞き返したりするときに参考となる表現や語彙を取り上げ、解説を加える。</p> <p>4 (自己) 評価 (5分) 本時の活動について自己評価する。</p>		
評価	<p>(タスクの完了) 相手の部屋の配置図が再現できた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 詳細な説明を求めたり、聞き取れなかった言葉を聞き返したりすることができた。</p> <p>(表現の能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 適切な表現で説明することができた。 2 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。 		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 疑問文, 場所を表す表現, 色や大きさを表す表現</p>		

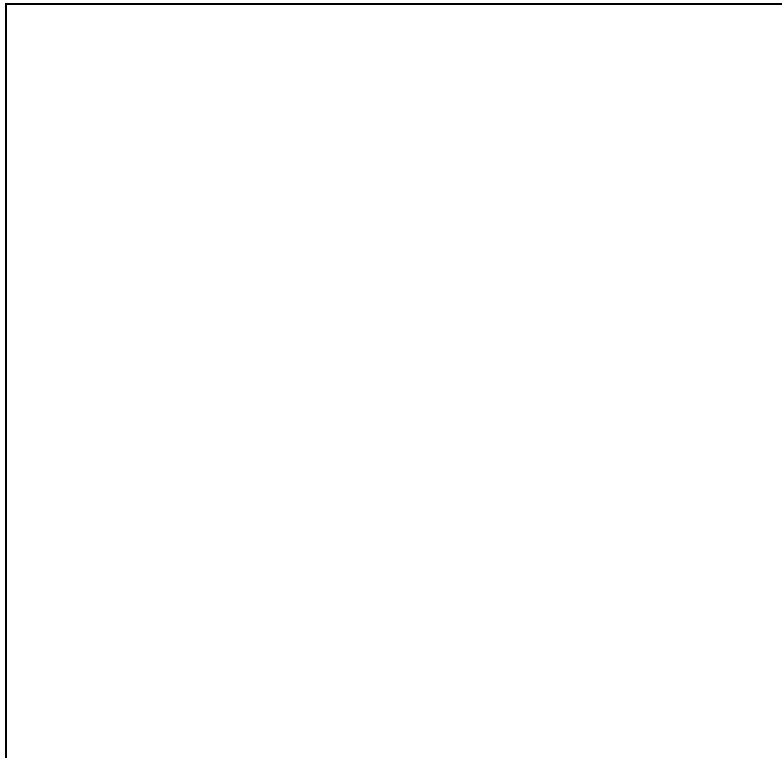
活動例 22 ワークシート【Sheet A】
Arrangement in Your Room

Draw a picture of one room in your house :

Example

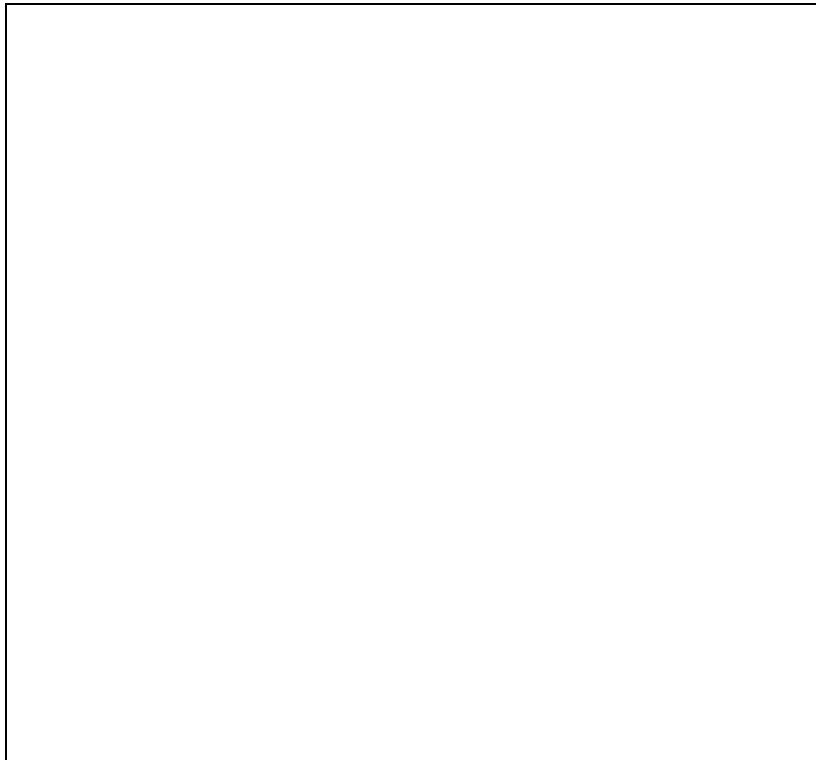


Your house's room:



活動例 22 ワークシート【Sheet B】

Draw a picture of one room in your friend's house :



自己評価

- 1 パートナーの描いた配置図を再現することができた。 (90%以上 75%位 50%以下)
- 2 詳細な説明を求めたり，聞き取れない語を聞き返したりするなど，積極的に話すことができた。
(◎ ○ △ ×)
- 3 言い換えたり，ジェスチャーをしたりしながら，自宅の部屋を分かりやすく説明することができた。
(◎ ○ △ ×)
- 4 新たに使える語句や表現を学ぶことができた。 (◎ ○ △ ×)

タスク活動例 23

タイトル	Roommates	レベル 中	所要時間 35分
ねらい	自分の理想のルームメイトを探す。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の性格と理想のルームメイトについて考える。 2 ペアの相手とお互いに良いルームメイトになることができるか相談する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) ワークシート [Sheet A] ニューヨークで部屋を借りるに当たり、ルームメイトを探しているという設定を説明し、語彙を紹介する。 2 タスク活動 (10分) ワークシート [Sheet B] <ol style="list-style-type: none"> (1) ルームメイトを探すに当たり、自己紹介文を作成する。 (2) 自己紹介文の中にルームメイトに求める資質を記入する。 (3) ペア・ワークで、理想のルームメイト像を尋ね、共通点や違いについてメモを取る。 3 オーラル・レポート (10分) 自分とペアがルームメイトとして適当かどうかを発表し、その理由を述べる。 4 言語的側面の学習 (5分) 発表に役立つ表現を紹介・説明する。 5 (自己) 評価 (5分) 本時の活動について自己評価する 		
評価	<p>(タスクの完了) ペアが理想のルームメイトになり得るのか決めることができた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 今までに習った知識などを使いながら会話を継続することができた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 人の性格を表す形容詞, 助動詞 My roommate should (shouldn't)~, 疑問文 Do you like ~?, 相関を表す表現 Both~, Neither~, So do I.</p>		

活動例 23 ワークシート [Sheet A]

Connect the words and their definitions:

- | | |
|-----------------|---|
| 1 kind | • somebody who treats other people very well |
| 2 individualist | • somebody who thinks primarily about himself or herself |
| 3 sensible | • having an awareness or understanding of a situation |
| 4 caring | • someone who is kind and gives emotional support to others |
| 5 ambitious | • someone who is determined to be successful, rich, powerful, etc. |
| 6 talkative | • someone who is comfortable talking |
| 7 easygoing | • someone who is not easily upset, annoyed, or worried |
| 8 sociable | • someone who is friendly and enjoys being with other people |
| 9 flexible | • someone who can change easily to suit any new situation |
| 10 patient | • someone who can wait for a long time or accept difficulties without getting angry |

活動例 23 ワークシート [Sheet B]

Describe yourself in English

I am _____, _____, and _____.
I like _____, _____, and _____.
I don't like _____, _____, and _____.
I want to _____, _____, and _____.

After describing yourself, think about your ideal roommate.

My roommate should _____, _____, and _____.
My roommate _____.

タスク活動例 24

タイトル	How was your 2008? －2008 年を漢字一字で表すと？－	レベル 中	所要時間 50 分
ねらい	2008 年を象徴する漢字一字を選ぶ。		
タスク・ イメージ	グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループ（4人）をつくり，各自が考えた漢字について発表する。 2 グループごとに一字を選び出し，選出理由を書く。 3 各グループが選んだ漢字をクラス全体に発表する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（5分） 2008 年を象徴する漢字一字を考えさせ，グループ内で発表し，その中から一字を選出するという手順を伝える。 2 タスク活動（25分） まず各自が一字を考え，英語でその単語の意味や選んだ理由を書く。次にグループ内で全員が発表し，その中から一字を選び，選んだ理由を書く。 3 レポート（10分） 各グループの代表者に，黒板に漢字を書かせてクラス全体に発表させる。 4 言語的側面の学習（7分） 発表の中で登場した文法・表現などを取り上げ，確認とアドバイスをする。 5 自己評価（3分） 本時の活動を生徒が自己評価する。 		
評価	<p>（タスクの完了） グループでの活動に積極的に参加できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>（表現の能力） 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 理由を表す接続詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜，辞書（英和，和英）を使わせてもよい。 ・「2008 年を象徴する英単語」にしてもよい。 		

活動例 24 ワークシート

“How was your 2008?” **worksheet**

組 番 氏名 _____

① あなたにとって 2008 年を象徴する漢字一字は何ですか？

漢字	・英語での意味： ・選んだ理由：
-----------	-------------------------

② 4人グループをつくり，①の内容を発表してください。他のメンバーの発表内容についてメモを取ってください。

発表者：()

--	--

発表者：()

--	--

発表者：()

--	--

③ グループで相談して，最もインパクトのある漢字一字を選び，その理由を書いてください。

--	--

④ 活動を振り返って

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 グループでの話合いに積極的に参加できた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 2 これまで学習した表現を用いて，自分の考えを伝えることができた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 3 今後活用できそうな表現・語句を学ぶことができた。 | A | ・ | B | ・ | C |

3.を具体的に

--	--

4 これを英語で言いたかった(書きたかった)のに！

タスク活動例 25

タイトル	Why don't you read this book? —お薦めの1冊—	レベル	所要時間
ねらい	友人に本を紹介し、推薦する。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) 夏休みの読書感想文の題材にした本について、ワークシートの表をまとめ、グループでその本を紹介・推薦するという手順を伝える。 2 タスク活動 (25分) <ol style="list-style-type: none"> (1) 夏休みの読書感想文の題材にした本について、worksheet の表をまとめる。 (2) 4人グループをつくり、お薦めの1冊として発表する。 (3) メモを取りながら他のメンバーの発表を聞き、読んでみたい1冊を選び、その理由を書く。 3 レポート (10分) 本の紹介と読んでみたい本について、それぞれ指名された生徒がクラス全体に発表する。 4 言語的側面の学習 (7分) 発表の中で登場した文法・表現などを取り上げ、確認とアドバイスをする。 5 自己評価 (3分) 本時の活動を生徒が自己評価する。 		
評価	<p>(タスクの完了) グループでの活動に積極的に参加できた。</p> <p>(コミュニケーションの継続) 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 推薦・提案表現 be impressed by ~, recommend you to ~, Why don't you ~, I'd like to ~ 等 ・自分の紹介する本の内容は事前に書かせておいてもよい。</p>		

タスク活動例 26

タイトル	School Trip －新しい修学旅行先の検討－	レベル 中～難	所要時間 50分
ねらい	新しい修学旅行先を検討し、決定する。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク 又は グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 同じ候補地を推薦する生徒でペアをつくり、情報を共有・追加する。 2 4つの候補地がすべてそろうように4人グループをつくり、旅行先を検討・決定する。 3 グループの代表がクラス全体に発表する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（5分） <ol style="list-style-type: none"> (1) 新しい修学旅行先を検討・決定する手順を伝える。 (2) 候補地は、北海道・信州（スキー）・長崎・沖縄。四つの候補地を均等に生徒に割り振る。 2 タスク活動（25分） <ol style="list-style-type: none"> (1) 各自が担当する候補地の推薦理由を書く。 (2) 同じ候補地を担当する生徒でペアをつくり、情報を共有・追加する。 (3) 四つの候補地がすべてそろうように4人グループをつくり、旅行先を検討・決定し、理由をまとめる。 3 レポート（10分） <p style="padding-left: 20px;">各グループの代表が旅行先と理由を発表する。</p> 4 言語的側面の学習（7分） <p style="padding-left: 20px;">発表の中で登場した文法・表現などを取り上げ、確認とアドバイスをする。</p> 5 自己評価（3分） <p style="padding-left: 20px;">本時の活動を生徒が自己評価する。</p> 		
評価	<p>（タスクの完了）</p> <p style="padding-left: 20px;">ペア、グループでの活動に積極的に参加できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続）</p> <p style="padding-left: 20px;">既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>（表現の能力）</p> <p style="padding-left: 20px;">新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 理由を表す接続詞</p> <p>・旅行先は事前に割り振り、予習させてもよい。</p>		

活動例 26 ワークシート

School Trip” **worksheet**

組 番 氏名 _____

- ① 新しい修学旅行先を検討します。あなたが推薦する候補地はどこですか？
A 北海道 B 信州(スキー) C 長崎 D 沖縄

- ② 推薦する理由を書いてください。

- ③ 同じ候補地を推薦するパートナーを見付け、情報を共有・追加してください。

- ④ 四つの候補地がすべてそろそろように4人のグループをつくり、あなたが推薦する候補地について発表してください。他のメンバーの発表内容についてメモを取ってください。

候補地() 発表者()

候補地() 発表者()

候補地() 発表者()

- ⑤ グループで相談して、候補地を一つ決定し、その理由を書いてください。

候補地()

理由:

- ⑥ 活動を振り返って

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 グループでの話合いに積極的に参加できた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 2 これまで学習した表現を用いて、自分の考えを伝えることができた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 3 今後使えそうな表現・語句を学ぶことができた。 | A | ・ | B | ・ | C |

3を具体的に

- 4 これを英語で言いたかった(書きたかった)のに!

タスク活動例 27

タイトル	Experiences in the workplace －夏休みの職場体験－	レベル 中～難	所要時間 50分
ねらい	夏休みの職場体験の訪問先を決定する。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 ペアをつくり，互いに訪問先の候補を紹介する。 2 互いが紹介した候補の中から，訪問先を一つ選び，その理由を書く。 3 幾つかのペアがクラス全体に発表する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク（5分） 夏休みの職場体験の訪問先を互いに2箇所ずつ紹介し，その中から一つ選ぶという手順を伝える。 2 タスク活動（25分） ワークシート1（Sheet A）の生徒が訪問先の候補を2箇所紹介し，ワークシート2（Sheet B）の生徒はメモを取る。次にワークシート2（Sheet B）の生徒が紹介し，ワークシート1（Sheet A）の生徒がメモを取る。相談をして，四つの候補地から一つ選び，その理由を書く。 3 レポート（10分） 幾つかペアを指名し，A又はBの生徒に訪問先と理由を発表させる。 4 言語的側面の学習（7分） 発表の中で登場した文法・表現などを取り上げ，確認とアドバイスをする。 5 自己評価（3分） 本時の活動を生徒が自己評価する。 		
評価	<p>（タスクの完了） ペアでの活動に積極的に参加できた。</p> <p>（コミュニケーションの継続） 既習の語彙や表現を活用してコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>（表現の能力） 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>		
留意点	<p>（使用が予想される文法項目） 理由，条件を表す接続詞，聞き返しの表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先について，オリジナルの情報を追加させてもよい。 ・オリジナルの訪問先の候補を追加させてもよい。 		

活動例 27 ワークシート 1

“Experiences in the workplace”

Sheet A

組 番 氏名 _____

夏休みの職場体験の訪問先をパートナーと相談して決めてください。

- ① まず、あなた（Aさん）が見付けてきた二つの訪問先をBさん（パートナー）に紹介してください。自分で考えた情報を追加しても構いません。
- ・ 保育園 … 学校のすぐ隣, 園児との触れ合い, 遊び相手, 食事の世話 等.
 - ・ スーパーマーケット … 駅前, レジの補助, 商品の運搬, 簡単な清掃 等.
- ② 次に、Bさんが見付けてきた訪問先を紹介してもらって、メモを取ってください。分からないときは、聞き返して確認してください。

- ③ 2人で相談して訪問先を決めて、その理由を書いてください。

訪問先:

理由:

- ④ 活動を振り返って

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 ペアでの話合いに積極的に参加できた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 2 これまで学習した表現を用いて、自分の考えを伝えることができた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 3 今後使えそうな表現・語句を学ぶことができた。 | A | ・ | B | ・ | C |

3を具体的に

- 4 これを英語で言いたかった(書きたかった)のに!

活動例 27 ワークシート 2

“Experiences in the workplace” **Sheet B** 組 番 氏名 _____

夏休みの職場体験の訪問先をパートナーと相談して決めてください。

- ① まず、Aさん（パートナー）が見付けてきた二つの訪問先を紹介してもらって、メモを取ってください。分からないときは、聞き返して確認してください。

- ② 次に、あなた（Bさん）が見付けてきた訪問先をAさんに紹介してください。自分で考えた情報を追加してもかまいません。

- ・ ラジオ放送局 … 栄の中心, 局内の見学, 人気番組の収録に立ち会える 等
- ・ ファミリーレストラン … 店長さんはこの学校の卒業生, 簡単な接客, 食器洗い 等

- ③ 2人で相談して訪問先を決めて、その理由を書いてください。

訪問先:

理由:

- ④ 活動を振り返って

- | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1 ペアでの話合いに積極的に参加できた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 2 これまで学習した表現を用いて、自分の考えを伝えることができた。 | A | ・ | B | ・ | C |
| 3 今後使えるような表現・語句を学ぶことができた。 | A | ・ | B | ・ | C |

3を具体的に

- 4 これを英語で言いたかった(書きたかった)のに！

タスク活動例 28

タイトル	SUMMER VACATION	レベル 易	所要時間 40 分
ねらい	夏休みに出掛ける場所を決めることができる。		
タスク・ イメージ	グループ・ワーク		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 夏休みに出掛ける場所を決める。(具体的な地名を挙げる) 2 出掛けた場所であることを三つ以上言う。 3 その場所に持って行く物を五つ以上言う。 <ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) グループに分かれ、夏休みに行きたい場所を幾つか考えるよう指示する。 2 タスク活動 (10分) グループ内で話し合い、出掛ける先を一つに決める。その際、出掛けた場所であることを三つ、持ち物を五つ以上言えるようにする。 3 レポート (15分) 各グループは、1-出掛ける場所、2-することを三つ以上、3-持ち物を五つ以上を発表する。他の生徒は、発表を聞きメモを取る。 4 言語的側面の学習 (5分) 「夏」に関連する単語で、自分の知らなかったものを各自まとめる。 発表を聞き、初めて聞いた表現を五つ書く。 5 評価 (5分) 生徒は以下の点について自己評価をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発言ができた。 (○ △ ×) ・グループ内で友達の意見を聞くことができた。 (○ △ ×) ・発表することができた。 (○ △ ×) ・発表を理解することができた。 (%) 		
評価	<p>(タスクの完了)</p> <p>夏休みに出掛ける場所を決定し、その場所であることを三つ以上、持ち物を五つ以上言うことができる。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習の単語や表現を使い、グループ内の話合いに参加できた。 2 他グループの発表を理解することができた。 <p>(表現の能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今まで知らなかった単語や表現をまとめることができた。 2 はっきりと分かりやすく発表することができた。 		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Winter Vacation や Spring Vacation などにしてそれぞれの季節に関連した行事や語句を学ばせるのもよい。 		

タスク活動例 29

タイトル	WINTER VACATION	レベル	中～難	所要時間	45分
ねらい	正月料理の作り方を説明することができる。				
	ペア・ワーク				
タスク・イメージ	<ol style="list-style-type: none"> 1 正月に欠かせない料理の一つ挙げる。 2 その料理を作るための材料のリストを作成する。 3 その料理の作り方を書く。 				
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (5分) ペアに分かれるよう指示する。タスクの内容を説明する。 2 タスク活動 (15分) ペアで正月に欠かせない料理の一つ考え、材料のリストを作成する。さらに、その料理の作り方を書き出す。 3 レポート (15分) 各ペアが自分たちの考えた料理の作り方を発表する。他の生徒は発表を聞き、何の料理かを当てる。 4 言語的側面の学習 (5分) 料理に関連する単語で、自分の知らなかったものを各自がまとめる。 発表を聞き、初めて聞いた表現を五つ書く。 5 評価 (5分) 生徒は以下の点について自己評価をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力して料理の作り方を書くことができた。 (○ △ ×) ・発表することができた。 (○ △ ×) ・発表を理解し、何の料理かを当てることができた。 () (%) ・料理に関連する、知らなかった単語を学ぶことができた。 () (語) 				
評価	<p>(タスクの完了)</p> <p>正月に欠かせない料理を考え、その作り方を説明することができる。</p> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習の単語や表現を使い、ペアでの共同作業に参加できた。 2 他グループの発表を理解することができた。 <p>(表現の能力)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今まで知らなかった単語や表現をまとめることができた。 2 はっきりと分かりやすく発表することができた。 				
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕があれば、おせち料理の由来や各料理の文化的背景などについての英文を読ませてもよい。また、クラスに留学生がいたら、その国の正月の風習などについて発表してもらってもよい。 				

タスク活動例 30

タイトル	Make Up the Story! (introductory level)	レベル 易	所要時間 15 分
ねらい	自分たちのオリジナル・ストーリーをつくることができる。		
タスク・イメージ	グループ・ワーク ----- 教師が示した単語と熟語をすべて用いて、短いストーリーを創作する。		
手順	1 プレタスク (2分) タスク内容を説明する。既習単語や熟語を幾つか板書する。 2 タスク活動 (5分) グループで、教員が示した単語と熟語をすべて用い、短いストーリーを作る。 3 レポート (4分) 各グループが自分たちの作品を発表する。発表を聞きながら、各生徒は自分が最も好きな作品を選ぶ。 4 言語的側面の学習 (2分) この活動を通して学んだ単語や熟語、表現を各自でまとめる。 5 評価 (2分) 生徒は以下の点について自己評価をする。 ・示された単語と熟語をすべて用いて、ストーリーを完成する。 (○ △ ×) ・発表を理解し、自分の好きなストーリーを選ぶことができた。 (○ △ ×)		
評価	(タスクの完了) 自分たちのオリジナル・ストーリーを完成することができた。 (コミュニケーションの継続) 他者の発表を理解することができた。 (表現の能力) 今まで知らなかった単語や表現をまとめることができた。		
留意点	(使用が予想される文法項目) 全般 ・単語や熟語数の調整で、難易度を変えることができる。 ・発表されたストーリーを印刷し、クラス全員で各ストーリーの良い点を話し合うことにより、次の活動に結び付ける。		

タスク活動例 31

タイトル	Make Up the Story! (Pre-intermediate – Advanced level)	レベル 易～難	所要時間 35分
ねらい	1 自分のオリジナル・ストーリーを作ることができる。 2 イラストを相手のストーリーに合った順番に並べることができる。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク 1 イラストを自分の好きな順番に並べて、短いストーリーを作る。 2 ペアの相手とストーリーを読み合い、相手のイラストの順番を当てる。		
手順	1 プレ・タスク (5分) タスク内容を説明する。必要があれば、教師がデモンストレーションをする。 2 タスク活動 (15分) 各自、教員が示したイラストをすべて用いて、短いストーリーを作る。この時、イラストを並べる順番は各自の自由である。ストーリーが完成したら、ペアの相手に自分のオリジナル・ストーリーを読む。相手はそのストーリーを聞き、イラストを順番に並べる。 3 レポート (5分) 数名の生徒が自分のストーリーを読む。残りの生徒は、イラストの順番を当てる。 4 言語的側面の学習 (5分) この活動を通して学んだ表現や単語を各自でまとめる。 5 評価 (5分) 生徒は以下の点について自己評価をする。 ・ストーリーを完成することができた。 (○ △ ×) ・ストーリーを聞き、イラストを正しい順番にすることができた。 (○ △ ×) ・発表を理解し、イラストを正しい順番にすることができた。 (○ △ ×)		
評価	(タスクの完了) 自分のオリジナル・ストーリーを完成することができた。 (コミュニケーションの継続) 他者の発表を理解することができた。 (表現の能力) 今まで知らなかった単語や表現をまとめることができた。		
留意点	(使用が予想される文法項目) Please repeat ~? など ・イラストの数の調整で、難易度を変えることができる。 ・イラストを工夫することで、使わせたい文法項目を変えることができる。また、ストーリーを作る際、「～文以上」などと決めることで目標が明確になる。		

タスク活動例 32

タイトル	At a Hatch on a Rainy Day －雨の日の帰り道－	レベル	易～中 所要時間 20～50分
ねらい	自由会話作文		
タスク・イメージ	<p style="text-align: center;">シングル・ワーク 又は ペア・ワーク</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 一年間の交換留学生と想定する。クラスによろやく慣れてきたころである。</p> <p>2 会話タスクが初めての生徒の場合、例文会話を提示して慣れさせる。 *会話タスクが初めてではない場合、即興で作らせることもできる。</p> <p>3 Conversation Strategy を使って、ダイアログをつくる。</p> <p>4 ペアでの練習後、全体の前で、そのスキットを発表する。自己、学級、教員による評価により総合評価するとともに、生徒へのフィードバックを行う。</p>		
手順	<p>1 プレ・タスク (10分) 【ブレーン・ストーミング】 ・会話モデルの提示と、ウォーミングアップ問題に取り組みさせる。 ・Conversation Strategy の一つである"Rejoinders"(相づちの打ち方)と Follow Up Questions を紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(Rejoinders) I see. / That's nice. / Oh, year? / Oh, really! / That's great! / Wonderful / Oh, no./ You're kidding! / I can't believe it. / Sorry to hear that / Is that right? (F.U.Questions) What....? / Where...? / When....? /What kind of...? 等</p> </div> <p>2 タスク活動 (10～15分) (場面設定) その日は、午後から雨がひどく降っていました。みんなは天気予報で雨が降ることを知っていたので、傘を持っていました。留学生のリンダが、阿久比駅まで歩いていくのに傘がなくて困っているようです。リンダとあなたの会話をつくりなさい。 (1) 生徒は個人又はペアで、会話形式でダイアログを作成する。 (2) ペアで会話練習をする。</p> <p>3 レポート (15分) クラスサイズによる。 各ペアで発表する。(人数の多いクラスは、時間制限を設けてもよい) *できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。 *言語活動フィードバック時、ビデオを見ながら説明できる。 *数か月後に別の活動と照らし合わせ、どのくらい各自の発話が進歩し、改善したかを振り返ることもできる。</p> <p>4 言語的側面の学習 (10分) 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面での参考点や改善点を説明する。</p> <p>5 (自己) 評価 生徒が本活動について自己評価する。</p>		
評価	<p>(タスクの完了)</p> <p>1 ペアで協力してタスクを完成できた。</p> <p>2 既習の語彙や表現を活用して対話・発表することができた。</p>		

	<p>(コミュニケーションの継続) 他のペアの発表を聞き、全体の活動に貢献できた。</p> <p>(表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p>
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 現在時制, 過去時制, 未来時制, 受動態</p> <ul style="list-style-type: none"> • Conversation Strategy 導入やダイアログ作成例は提示した方が分かりやすい。 • オーラル・コミュニケーションのような少人数クラスが理想的である。口語表現チェックなどは、ALTなどNativeの協力があるとよい。 • 英英辞典の活用も望まれる。 <p>※定期考査問題にすることも可能である。</p>

【導入会話実例】

(A)	<p>A: Hi, () () help you? B: Yes. I can't read Japanese. Please show me where the low fat milk is? A: Sure. Please come with me. Here is the low fat milk. B: Thanks.</p>
(B)	<p>A: Hi! <u>What's ()</u>? 「どうしましたか?」 B: Well, I can't read Kanji so I don't know how to buy a ticket. A: () are you going? B: I want to go to Shinjuku. A: () (). 「え〜っと」 That'll be one hundred and fifty yen. And you press here. B: Great. Thank you for your help.</p>

【自由英作文採点基準】(注: 会話文の長さは生徒のレベル, 学習進捗状況によって変更する)

- | | | | |
|---|-----------------------------|---|--------------|
| 1 | 1~8まで会話が埋まっている: 4点 | 2 | 内容が理解できる: 2点 |
| 3 | Rejoinder (相づち表現)が使っている: 2点 | 4 | つづりミスがない: 1点 |
| 5 | 文法ミスがない: 1点 | | |

【参考語句】(これらの単語・表現を使わなくてもよい) umbrella / take the 16:30 train / be in time for / weather forecast / on TV / have to / meet / join / pick up / lend / kind / dash / towel, 等
--

★ リンダが昇降口で困ったように外をながめています。

1	You	
2	Linda	
3	You	
4	Linda	
5	You	
6	Linda	
7	You	
8	Linda	

タスク活動例 33

タイトル	Reduce (ごみの減量のために) —ペットボトルの代わりに・・・—	レベル 中～難	所要時間 50分
ねらい	1 環境に関する新聞の記事をグループ (ペア) で話し合ってみる。 2 まとめたものを基に、自分たちがごみ減量のためにできることを考える。(応用)		
タスク・ イメージ	グループ・ワーク ----- 【場面設定】 環境プロジェクトに応募するためのウォーミングアップ 1 新聞の記事 (2007年11月13日付け日本経済新聞) を読む。 2 グループでその記事に関するレポートをまとめる。 ※環境プロジェクトに応募するためのアイデアを考える。(応用) 3 書式に沿って英文を作成し、それをクラスで発表する。		
手順	1 プレ・タスク (タスク 1) (10分) ハンドアウト 1 ごみ減量に取り組んだ新聞記事を読む。それがなぜごみ減量につながるのかについてグループで話し合う。 ※タスク 2 (応用) (20分) ハンドアウト 2 環境プロジェクトに参加するために、グループで一つ、ごみ減量のために実現可能なアイデアを話し合ってみる。アイデアは ハンドアウト 2 に書いてある必要事項を盛り込むことにする。 2 レポート (15分) 各グループで発表する。(人数の多いクラスは、時間制限を設けてもよい) ☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。 3 言語的側面の学習 (5分) 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面での参考点や改善点を説明する。		
評価	(タスクの完了) 1 グループで協力してタスクを完成できた。 2 既習の語彙や表現を活用して発表することができた。 (コミュニケーションの継続) 他の人の発表を聞き、全体の活動に貢献できた。 (表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。		
留意点	(使用が予想される文法項目) 全般 ・グループでまとまって、アイデアを出す。グループ内で司会役、記録者役、発表者を決めて実施するとよい。 ・時間があれば、発表後に各アイデアを練り直してもよい。		

活動例 33 ハンドアウト 1

☆もったいないプロジェクト Reduce ペットボトルの代わりに・・・Handout

【プレ・タスク（タスク1）】

次の新聞記事を読んで次の事柄について、ペア（グループ）で話し合いなさい。

日本経済新聞 2007年11月13日（火）記事（省略）

Question 1 このことが、環境問題や消費者に有益だと考えられる理由を挙げなさい。

Question 2 改善点、あるいはこんなものがないというのであれば、加えなさい。

Question 3 以上のことを踏まえて、このプロジェクトの特徴、メリット、改良点を以下にまとめなさい。

（日本語でまとめてから英語に直し、発表する）

活動例 33 ハンドアウト 2

【タスク 2 (応用)】

高校生のための環境問題プロジェクトが、地方自治体主催、環境省後援で公募されました。優秀作品は、東京での国際会議で発表する、ということです。自分たちができる身近な「ゴミ減量プロジェクト」をグループで一つ考えてください。(発表は、英語で行います)

1 グループ名
2 プロジェクト名
3 プロジェクトの内容

発表されたプロジェクトについて (発表されたプロジェクトから一つ選んで)

1 このプロジェクトを、更によりものにするために、あなたが考えること
2 実現可能性 (%) その理由

C l a s s N o . N a m e _____

タスク活動例 34

タイトル	Reuse (再使用) ーフリーマーケットに出店しようー	レベル 中	所要時間 50分
ねらい	自分の家にあるもので、不用になったものをフリーマーケットで売ることにして、その品目と価格を設定する		
タスク・イメージ	<p style="text-align: center;">ペア・ワーク 又は グループ・ワーク</p> <p>(場面設定) フリーマーケットへの出店やガレージセールの実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家にある品物をペア、あるいはグループで選び出す。 2 それに価格を付ける。 3 不用な品物の絵を描いて、それに値段と品物の説明を加える。 4 クラスで発表する。 		
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレ・タスク (10分) フリーマーケット等に出店する品物を、ペア又はグループで1人3品選び出す。 2 タスク活動 (20分) <ol style="list-style-type: none"> (1) 選んだ品物に価格を付けて、その品物の説明を考える。 (2) 発表用に、その品物の絵を描き、価格を下に明記する。 3 レポート (15分) クラスで発表する。(人数の多いクラスは、時間制限を設けてもよい) <ol style="list-style-type: none"> (1) 絵を見せながら「Show & Tell」の要領で、実際にバザーでの売り子役をする。 (2) 他の生徒は、欲しいものを1人一つは買わなければいけないこととする。 (3) なぜそれを買うことにしたのか、理由を二つ書く。 ☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。 4 言語的側面の学習 (5分) 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面での参考点や改善点を説明する。 		
評価	<p>(タスクの完成)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 協力してタスクを完成できた。 2 既習の語彙や表現を活用して発表することができた。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <p>他の人の発表を聞き、全体の活動に貢献できた。</p> <p>(表現の能力)</p> <p>新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。</p> <p>※「絵を描く」ことを評価に入れてもよい。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ したら、買い手に魅力ある品物であるかを説明するのに工夫させる。 ・ 発表を聞く側が、買い手となって、交渉することも可とする。 ・ 売り手と買い手の掛け合いがあれば理想的である。 		

タスク活動例 35

タイトル	Recycle (再利用) —ごみの分別—	レベル 易	所要時間 50分
ねらい	ごみの分別をする。		
タスク・ イメージ	ペア・ワーク 又は グループ・ワーク		
手順	<p>【準備する資料】市町村が発行するごみの分別表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 分別表に示されたごみを分別するために、ペア、又はグループで品目例を挙げる。 2 分別項目に従って、それぞれの品目を、該当する分別項目に入れる。 3 ペアでQ&A方式で会話練習する。 4 グループで発表する。 		
評価	<p>1 プレ・タスク (10分) 分別表に示されたごみの分別項目に従って、家庭にあるごみの品目をそれぞれ5品目ずつペア、又はグループで挙げる。</p> <p>2 タスク活動 (20分) 分別したごみをどのように処理するか、それぞれ説明できるように英文を作成する。</p> <p>3 レポート (15分) ペアで、各分別項目ごとに、Q&A方式で会話を進めていく。 例 A: Where should I throw away this beer bottle? B: You should throw it away into the box for empty bottles. A: Should I clean this bottle before throwing it away? B: Sure. And you should... ☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。</p> <p>4 言語的側面の学習 (5分) 各グループの発表で、英語表現・文法・語法の面での参考点や改善点を説明する。</p>		
留意点	<p>(タスクの完成)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 協力してタスクを完成できた。 2 既習の語彙や表現を活用して発表することができた。 <p>(コミュニケーションの継続) 他の人の発表を聞き、全体の活動に貢献できた。</p> <p>(表現の能力) リサイクル・ゴミの分別を説明するための語彙・表現を身に付けることができた。</p>		
留意点	<p>(使用が予想される文法項目) 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に在住の外国人に「ごみの分別」方法を説明できるようにする。 		

タスク活動例 36

タイトル	My English Learning History –私の英語学習歴– To Improve My English –英語の力を付けるには–	レベル 中	所要時間 50分（以上）
ねらい	留学生の英語学習歴を参考に 1 自分の英語学習歴を振り返る。 2 英語の力を付けるための方法を自分なりに考える。		
タスク・イメージ	ペア・ワーク 又は グループ・ワーク		
タスク・イメージ	1 スイスからの留学生が第二外国語としてどのように英語を学んだかを書いたものを読んで、質問に答える。 2 自分の英語学習歴を振り返るとともに、英語力を向上するために必要なことは何か三つ考える ※ブレイン・ストーミングでペア又はグループで話し合わせてもよい 3 書式に従って、英文を作成する。 4 クラスで発表する。		
手順	1 プレ・タスク（10分） (1) 留学生の英語学習歴をクラスで発表させ、ハンドアウト1の質問に答える。 (2) 留学生の書いた英語学習歴（ハンドアウト2）を読み、意見や感想を書く。 2 タスク活動（20分） (1) 留学生の経験を参考に、自分の英語学習歴を振り返る。 (2) 留学生の経験を参考に、今の自分の英語学習の目的を書き、それを実現させるために必要と思われる用件を三つ考えて、英文にする。（ハンドアウト3） ※ペア又はグループで話し合いをもってもよい。（ハンドアウト4） 3 レポート（15分） 各グループで発表する。（人数が多い場合は、時間制限を設けてもよい） ☆できれば、生徒の発表の様子をビデオに記録しておく。 4 言語的側面の学習（5分） 各グループの発表で、英語表現・文法・語法面で参考になる点や改善点を説明する。		
評価	(タスクの完了) 1 留学生の話を読む、聞くことができた。 2 既習の語彙や表現を活用して英文を書くことができた。 (コミュニケーションの継続) 他の発表を聞き、クラスの活動に貢献できた。 (表現の能力) 新たに使える語彙や表現を学ぶことができた。		
留意点	(使用が予想される文法項目) 全般 ・自分の英語学習歴、目的を一度客観視して自己啓発の機会となるよう促す。 ・クラスの仲間、留学生から英語学習歴、勉強法など刺激を受けるよい機会とする。		

活動例 36 ハンドアウト 1

Linda's writing

Lindaは9月より一年間在籍予定のスイスからの留学生です。

彼女の母国語は Local German だそうです。

彼女は今17歳。スイスでの英語の授業風景を英語にしてもらいました。

☆まず、授業でアクティビティをすることについて

I think using activities is a really good way to learn English. In that way, you learn how to use the learned grammar.

☆では、Lindaは、スイスで普段どのような英語の授業を受けているのでしょうか？それについて書いてもらったところ・・・

English in Switzerland

During English classes in Switzerland, we're not allowed to speak German. If the teacher hears us speaking German, we have to pay 10 cents. The teacher also talks never in German with us. We're only allowed to speak English. The teacher normally introduces new grammar on the blackboard, then we do an activity. We also read a lot of English books.

★この文章で、あなたが印象に残ったところは、どの箇所ですか？書き出してみてください。

★それについてあなたの意見 (opinion), 感想 (impression)を英語で述べてみましょう。

I am surprised to know that ...

I've got a strong impression on the fact that...

Because ...

In my opinion,

Class No. Name

活動例 36 ハンドアウト 2

次に、彼女がどうやって英語を話したり、書いたりする力を付けたのか、書いてもらいました。その文を読んで、あなたの意見や感想を書いてみましょう。

How I Learned English

In Switzerland, we start to learn English in junior high school. So I'm studying English for four years now. But when I was younger, we often traveled to Singapore, because my father had work to do there. In Singapore, everybody talked English to me. So I knew a bit English from a very small age.

In junior high school, we have about four or five English lessons a week. We use textbooks like in Japan, but they are different from our textbooks. In our textbooks, there are much more activities.

Last year, we started to read books in English and that's what really helped my English to improve. First, we just read small books, like fairytales. But after that we read a robot or Harry Potter. I really enjoyed reading books in English. I think when you enjoy something you'll learn much faster. I also started to watch my favorite series on TV in English.

I enjoyed English very much, so I decided to take the bilingual course at my school. That means Math and History was taught in English.

I think it's easier for European people to learn English than for Japanese. Because they hear it every day. For example, almost all music we hear is in English. English is also very similar to German. Some words are even the same. Japanese is completely different from English, so that makes it harder for you to learn it. However, if you really want to learn English, you will learn it!

Linda

活動例 36 ハンドアウト 3

Let's write your opinion.

1 英語の力を付けるために、あなたが必要だと思うことを三つ書き出してください。

例	1 “doing activities” in classes	【Yours】	1
	2 traveling abroad		2
	3		3

2 「英語の力を付けるために」というタイトルで、英文を書いてみましょう。

例	“ To Improve My English”
<p>I think <u>three things</u> are important for me to improve my English.</p> <p>First, doing activities during classes is necessary. I don't like just sitting and listening to the lesson without doing anything. I want to be a fluent speaker of English. In order to speak English fluently, I have to practice English a lot.</p> <p>Second, if I travel abroad, and have a chance to talk to the people in English or make friends with someone there, I need to keep in touch with them. So I have a good will to learn more English.</p> <p>Third,</p> <p>All those things are good for improving my English. Now I try to speak to Linda in English to communicate. It is really fun! I hope I will be able to speak English freely and make myself understood in English.</p> <p style="text-align: right;">Reiko</p>	

--

Class No. Name _____

活動例 36 ハンドアウト 4

Talk with your partner.

1. When do people in Switzerland start to learn English?
2. What was her experience in her small age?
3. How long has Linda been studying English?
4. How many English classes do they have in Switzerland?
5. What is a difference between textbooks in Japan and the ones in Switzerland?
6. What did she start to do for improving her skill of English last year?
7. Does she enjoy English?
8. What did she decide to do?
9. What is “a bilingual course at her school”?
10. Which people does she think are easier to learn English, European people or Japanese people?
11. Why does she think so?
12. Do you agree with that? If you agree, tell your partner the reason.
If you don't agree, tell your partner the reason.
13. Do you want to learn English?
14. Do you really want to improve your English?
15. What can you do for improving your English. In Linda's essay, you will find a few tips for it.
Pick up the part that you think that it's ideal for you to learn English and underline that part.

Memo

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15

Class No. Name _____